

Inspiron 5300

サービスマニュアル



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: コンピューター内部の作業	6
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	6
作業を開始する前に.....	6
安全にお使いいただくために.....	6
ESD (静電気放出) 保護.....	7
ESD フィールド・サービス・キット.....	7
敏感なコンポーネントの輸送.....	8
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	8
章 2: コンポーネントの取り外しと取り付け	10
推奨ツール.....	10
ネジのリスト.....	10
Inspiron 5300 の主要なコンポーネント.....	11
ベースカバー.....	12
ベース カバーの取り外し.....	12
ベース カバーの取り付け.....	15
バッテリー.....	16
リチウム イオン バッテリーに関する注意事項.....	16
3 セル バッテリーの取り外し.....	17
3 セル バッテリーの取り付け.....	18
4 セル バッテリーの取り外し.....	19
4 セル バッテリーの取り付け.....	20
ソリッドステートデバイス.....	21
SSD の取り外し.....	21
ソリッドステート ドライブの取り付け.....	21
コイン型電池.....	23
コイン型電池の取り外し.....	23
コイン型電池の取り付け.....	23
ワイヤレスカード.....	24
ワイヤレス カードの取り外し.....	24
ワイヤレス カードの取り付け.....	25
ファン.....	27
ファンの取り外し.....	27
ファンの取り付け.....	27
スピーカー.....	28
スピーカーの取り外し.....	28
スピーカーの取り付け.....	29
ディスプレイアセンブリ.....	30
ディスプレイ アセンブリーの取り外し.....	30
ディスプレイアアセンブリーの取り付け.....	33
タッチパッド.....	34
タッチパッドの取り外し.....	34
タッチパッドの取り付け.....	35
ヒートシンク.....	36

ヒートシンクの取り外し.....	36
ヒートシンクの取り付け.....	38
電源アダプターポート.....	40
電源アダプターポートの取り外し.....	40
電源アダプターポートの取り付け.....	41
I/O ボード.....	42
I/O ボードの取り外し.....	42
I/O ボードの取り付け.....	43
システムボード.....	44
システムボードの取り外し.....	44
システムボードの取り付け.....	45
電源ボタン.....	47
電源ボタンの取り外し.....	47
電源ボタンの取り付け.....	48
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し.....	48
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け.....	50
パームレストとキーボードアセンブリ.....	52
パームレストとキーボードアセンブリーの取り外し.....	52
パームレストとキーボードアセンブリーの取り付け.....	53
章 3: ドライブおよびダウンロード.....	54
章 4: システム セットアップ.....	55
BIOS セットアッププログラムの起動.....	55
ナビゲーションキー.....	55
ワンタイムブートメニュー.....	56
セットアップユーティリティのオプション.....	56
Windows での BIOS のアップデート.....	64
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	64
USB フラッシュドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	65
Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート.....	65
F12 ワンタイムブートメニューからの BIOS のフラッシュ.....	65
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	68
システムセットアップパスワードの割り当て.....	69
既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更.....	69
CMOS 設定のクリア.....	70
BIOS (システムセットアップ) パスワードとシステムパスワードのクリア.....	70
章 5: トラブルシューティング.....	71
Dell SupportAssist 起動前システムパフォーマンスチェック診断.....	71
SupportAssist 起動前システムパフォーマンスチェックの実行.....	71
検証ツール.....	71
LCD ビルトイン自己テスト (BIST)	77
M-BIST.....	78
システム診断ライト.....	78
オペレーティングシステムのリカバリー.....	79
待機電力のリリース.....	79
WiFi 電源の入れ直し.....	80

章 6: 「困ったときは」と「Dell へのお問い合わせ」81

コンピューター内部の作業

コンピューター内部の作業を始める前に

① **メモ:** 本書の画像は、ご注文の構成によってお使いのコンピューターと異なる場合があります。

作業を開始する前に

手順

1. 開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のアプリケーションはすべて終了します。
2. コンピューターをシャットダウンします。[スタート] > [電源] > [シャットダウン] の順にクリックします。
① **メモ:** 他のオペレーティングシステムを使用している場合は、お使いのオペレーティングシステムのシャットダウン方法に関するマニュアルを参照してください。
3. コンピューターおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
4. キーボード、マウス、モニターなど取り付けられているすべてのネットワークデバイスや周辺機器をコンピューターから外します。
5. すべてのメディアカードと光ディスクをコンピューターから取り外します（取り付けられている場合）。

安全にお使いいただくために

身体の安全を守り、PC を損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。特に記載のない限り、この文書に記載される各手順は、お使いの PC に付属の「安全にお使いいただくための注意事項」をすでにお読みいただいていることを前提とします。

① **メモ:** PC 内部の作業を行う前に、お使いの PC に付属している「安全にお使いいただくために」をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、法令遵守ホームページ（www.dell.com/regulatory_compliance）をご覧ください。

① **メモ:** PC につないでいる電源をすべて外してから、PC カバーまたはパネルを開きます。PC 内部の作業を終えた後は、PC を電源コンセントに接続する前に、カバー、パネル、およびネジをすべて取り付けてください。

△ **注意:** PC の損傷を避けるため、平らで乾いた清潔な場所で作業を行うようにしてください。

△ **注意:** コンポーネントおよびカードは、損傷を避けるために端を持つようにしてください。ピンおよび接合部には触れないでください。

△ **注意:** 許可されている、あるいは Dell テクニカルサポートチームによって指示を受けた内容のトラブルシューティングと修理のみを行うようにしてください。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に付属の「安全にお使いいただくために」、または www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。

△ **注意:** PC 内部の部品に触れる前に、PC 背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れ、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を除去してください。

△ **注意:** ケーブルを外すときは、コネクタまたはコネクタのプルタブを持つようにし、ケーブル自体を引っ張らないでください。一部のケーブルのコネクタ部には、ロックタブや蝶ネジが付いています。該当するケーブルを外す際には、これらを外す必要があります。ケーブルを外すときは、均等にそらえて、コネクタのピンを曲げないようにしてください。ケーブルを接続するときは、ポートとコネクタの向きが合っていることを確認してください。

△ **注意:** メディアカードリーダーに取り付けられたカードは、押して取り出します。

① **メモ:** お使いの PC の色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

ESD (静電気放出) 保護

電気パーツを取り扱う際、ESD は重要な懸念事項です。特に、拡張カード、プロセッサ、メモリ DIMM、およびシステムボードなどの静電気に敏感なパーツを取り扱う際に重要です。ほんのわずかな静電気でも、断続的に問題が発生したり、製品寿命が短くなったりするなど、目に見えない損傷が回路に発生することがあります。省電力および高密度設計の向上に向けて業界が前進する中、ESD からの保護はますます大きな懸念事項となってきています。

最近のデル製品で使用されている半導体の密度が高くなっているため、静電気による損傷の可能性は、以前のデル製品よりも高くなっています。このため、以前承認されていたパーツ取り扱い方法の一部は使用できなくなりました。

ESD による障害には、「致命的」および「断続的」の 2 つの障害のタイプがあります。

- **致命的** – 致命的な障害は、ESD 関連障害の約 20% を占めます。障害によりデバイスの機能が完全に直ちに停止します。致命的な障害の一例としては、静電気ショックを受けたメモリ DIMM が直ちに「No POST/No Video (POST なし/ビデオなし)」症状を起し、メモリが存在または機能しないことを示すビープコードが鳴るケースが挙げられます。
- **断続的** – 断続的なエラーは、ESD 関連障害の約 80% を占めます。この高い割合は、障害が発生しても、大半のケースにおいてすぐにはそれを認識することができないことを意味しています。DIMM が静電気ショックを受けたものの、トレースが弱まっただけで、外から見て分かる障害関連の症状はすぐには発生しません。弱まったトレースが機能停止するまでには数週間または数ヶ月かかることがあり、それまでの間に、メモリ整合性の劣化、断続的メモリエラーなどが発生する可能性があります。

認識とトラブルシューティングが困難なのは、「断続的」(「潜在的」または「障害を負いながら機能」とも呼ばれる) 障害です。

ESD による破損を防ぐには、次の手順を実行します。

- 適切に接地された、有線の ESD リストバンドを使用します。ワイヤレスの静電気防止用リストバンドの使用は、現在許可されていません。これらのリストバンドでは、適切な保護がなされません。パーツの取り扱い前にシャーシに触れる方法では、感度が増したパーツを ESD から十分に保護することができません。
- 静電気の影響を受けやすいすべてのコンポーネントは、静電気のない場所で扱います。可能であれば、静電気防止フロアパッドおよび作業台パッドを使用します。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送用段ボールから取り出す場合は、コンポーネントを取り付ける準備ができるまで、静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開ける前に、必ず身体から静電気を放出してください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送する場合は、あらかじめ静電気防止コンテナまたは静電気防止パッケージに格納します。

ESD フィールド・サービス・キット

最も頻繁に使用されるサービスキットは、監視されないフィールド・サービス・キットです。各フィールド・サービス・キットは、静電対策マット、リストストラップ、そしてボンディングワイヤーの 3 つの主要コンポーネントから構成されています。

ESD フィールド・サービス・キットのコンポーネント

ESD フィールド・サービス・キットのコンポーネントは次のとおりです。

- **静電対策マット** – 静電対策マットは散逸性があるため、サービス手順の間にパーツを置いておくことができます。静電対策マットを使用する際には、リストストラップをしっかりと装着し、ボンディングワイヤーをマットと作業中のシステムの地金部分のいずれかに接続します。正しく準備できたら、サービスパーツを ESD 袋から取り出し、マット上に直接置きます。ESD に敏感なアイテムは、手のひら、ESD マット上、システム内、または ESD 袋内で安全です。
- **リストストラップとボンディングワイヤー** – リストストラップとボンディングワイヤーは、ESD マットが不要な場合に手首とハードウェアの地金部分に直接接続したり、マット上に一時的に置かれたハードウェアを保護するために静電対策マットに接続したりできます。皮膚、ESD マット、そしてハードウェアをつなぐ、リストストラップとボンディングワイヤーの物理的接続をボンディングと呼びます。リストストラップ、マット、そしてボンディングワイヤーが含まれたフィールド・サービス・キットのみを使用してください。ワイヤレスのリストストラップは使用しないでください。リストストラップの内部ワイヤーは、通常の装着によって損傷が発生します。よって、事故による ESD のハードウェア損傷を避けるため、リスト・ストラップ・テスターを使用して定期的に確認する必要があります。リストストラップとボンディングワイヤーは少なくとも週に一度テストすることをお勧めします。
- **ESD リスト・ストラップ・テスター** – ESD ストラップの内側にあるワイヤーは、時間の経過に伴って損傷を受けます。監視されないキットを使用する場合には、サービスコールのたびに定期的にストラップをテストすることがベストプラクティスです。

最低でも週に一度テストします。テストには、リスト・ストラップ・テスターを使用することが最善です。リスト・ストラップ・テスターを所有していない場合には、地域オフィスに在庫を問い合わせてください。テストを実行するには、リストストラップを手首に装着した状態で、リストストラップのボンディングワイヤーをテスターに接続し、ボタンを押してテストを行います。テスト合格の場合には緑のLEDが点灯し、テスト不合格の場合には赤いLEDが点灯し、アラームが鳴ります。

- **絶縁体要素** – プラスチック製のヒートシンクの覆いなど、ESDに敏感なデバイスを、高く帯電していることが多いインシュレータ内蔵パーツから遠ざけることが重要です。
- **作業現場環境** – ESD フィールド・サービス・キットを配備する前に、お客様の場所の状況を評価します。たとえば、サーバ環境用にキットを配備するのと、デスクトップや携帯デバイス用にキットを配備することは異なります。サーバは通常、データセンター内のラックに設置され、デスクトップや携帯デバイスはオフィスのデスク上か、仕切りで区切られた作業場所に配置されます。物品が散乱しておらずESDキットを広げるために十分な平らな広いエリアを探してください。このとき、修理対象のシステムのためのスペースも考慮してください。また、作業場所にESDの原因と成り得る絶縁体がないことも確認します。ハードウェアコンポーネントを実際に取り扱う前に、作業場所では常に発泡スチロールおよびその他のプラスチックなどのインシュレータは敏感なパーツから最低30 cm (12 インチ) 離して置きます。
- **静電気を防止する梱包** – すべてのESDに敏感なデバイスは、静電気の発生しない梱包材で発送および受領する必要があります。メタルアウト/静電気防止袋の使用をお勧めします。なお、損傷した部品は、新しい部品が納品されたときと同じESD保護袋とパッケージを使用して返却される必要があります。ESD保護袋は折り重ねてテープで封をし、新しい部品が納品されたときの箱に同じエアクッション梱包材をすべて入れてください。ESDに敏感なデバイスは、ESD保護の作業場でのみパッケージから取り出すようにします。ESD保護袋では、中身のみ保護されるため、袋の表面に部品を置かないでください。パーツは常に、手の中、ESDマット上、システム内、または静電気防止袋内にあるようにしてください。
- **敏感なコンポーネントの輸送** – 交換用パーツやデルに返却するパーツなど、ESDに敏感なパーツを輸送する場合には、安全に輸送するため、それらのパーツを静電気防止袋に入れることが非常に重要です。

ESD 保護の概要

すべてのフィールドサービス技術者は、デル製品を保守する際には、従来型の有線ESD接地リストバンドおよび保護用の静電対策マットを使用することをお勧めします。さらに技術者は、サービスを行う際に、静電気に敏感なパーツからあらゆる絶縁体パーツを遠ざけ、静電気に敏感なパーツの運搬には静電気防止バッグを使用することが非常に重要です。

敏感なコンポーネントの輸送

交換パーツまたはデルに返送する部品など、ESDに敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れることが重要です。

装置の持ち上げ

重量のある装置を持ち上げる際は、次のガイドラインに従います。

△ 注意: 50 ポンド以上の装置は持ち上げないでください。常に追加リソースを確保しておくか、機械のリフトデバイスを使用します。

1. バランスの取れた足場を確保します。足を開いて安定させ、つま先を外に向けます。
2. 腹筋を締めます。腹筋は、持ち上げる際に背骨を支え、負荷の力を弱めます。
3. 背中ではなく、脚を使って持ち上げます。
4. 荷を身体に近づけます。背骨に近づけるほど、背中に及ぶ力が減ります。
5. 荷を持ち上げるときも降ろすときも背中を伸ばしておきます。荷に体重をかけてないでください。身体や背中をねじらないようにします。
6. 反対に荷を置くときも、同じ手法に従ってください。

コンピュータ内部の作業を終えた後に

このタスクについて

△ 注意: コンピュータ内部にネジが残っていたり、緩んでいたりすると、コンピュータに深刻な損傷を与える恐れがあります。

手順

1. すべてのネジを取り付けて、コンピュータ内部に外れたネジが残っていないことを確認します。

2. コンピュータでの作業を始める前に、取り外したすべての外付けデバイス、周辺機器、ケーブルを接続します。
3. コンピュータでの作業を始める前に、取り外したすべてのメディアカード、ディスク、その他のパーツを取り付けます。
4. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
5. コンピュータの電源を入れます。

コンポーネントの取り外しと取り付け

推奨ツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- プラスドライバー No.0
- プラスドライバー No.1
- プラスチック スクライブ

ネジのリスト

① メモ: コンポーネントからネジを取り外す際は、ネジの種類、ネジの数量をメモし、その後ネジの保管箱に入れておくことをお勧めします。これは、コンポーネントを交換する際に正しいネジの数量と正しいネジの種類を保管しておくようにするためです。

① メモ: 一部のコンピューターには、磁性面があります。コンポーネントを交換する際、ネジが磁性面に取り付けられたままになっていないことを確認してください。

① メモ: ネジの色は、発注時の構成によって異なります。

表 1. ネジのリスト

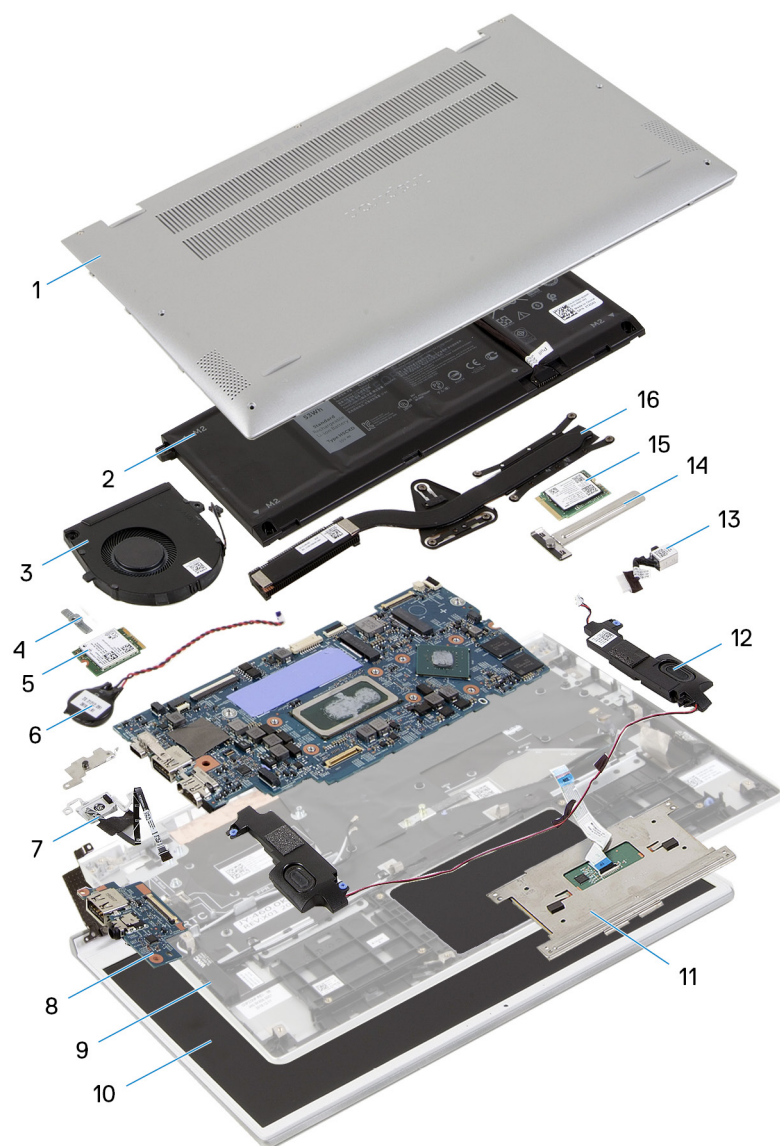
コンポーネント	固定先	ネジの種類	数	ネジの画像
ベース カバー	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x4	4	
3 セル バッテリー	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x5	4	
4 セル バッテリー	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x5	5	
ソリッドステートドライブ ブラケット	システム ボード	M2x3	1	
ファン	システム ボード	M2x3	2	
ディスプレイアセンブリーのヒンジ	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x2	3	
電源アダプター ポート	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x3	1	
電源ボタン シールド	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x3	1	
電源ボタン	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x5	1	

表 1. ネジのリスト (続き)

コンポーネント	固定先	ネジの種類	数	ネジの画像
I/O ボード	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x3	2	
ワイヤレスカードブラケット	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x2.5	1	
タッチパッド	パームレストとキーボードアセンブリー	M2x2	4	

Inspiron 5300 の主要なコンポーネント

次の画像は、Inspiron 5300 の主要なコンポーネントを示しています。



1. ベースカバー
2. バッテリー
3. ファン

4. ワイヤレスカードブラケット
5. ワイヤレスカード
6. コイン型電池
7. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタン
8. I/O ボード
9. パームレストとキーボードアセンブリー
10. ディスプレイ アセンブリー
11. タッチパッド
12. スピーカー
13. 電源アダプター ポート
14. ソリッドステート ドライブ シールド
15. ソリッドステート ドライブ
16. ヒートシンク

① **メモ:** デルでは、システム購入時の初期構成のコンポーネントとパーツ番号のリストを提供しています。これらのパーツは、お客様が購入した保証対象に応じて提供されます。購入オプションについては、デルのセールス担当者にお問い合わせください。

ベースカバー

ベース カバーの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前にの手順に従います。

このタスクについて

次のイメージは、ベース カバーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



3x

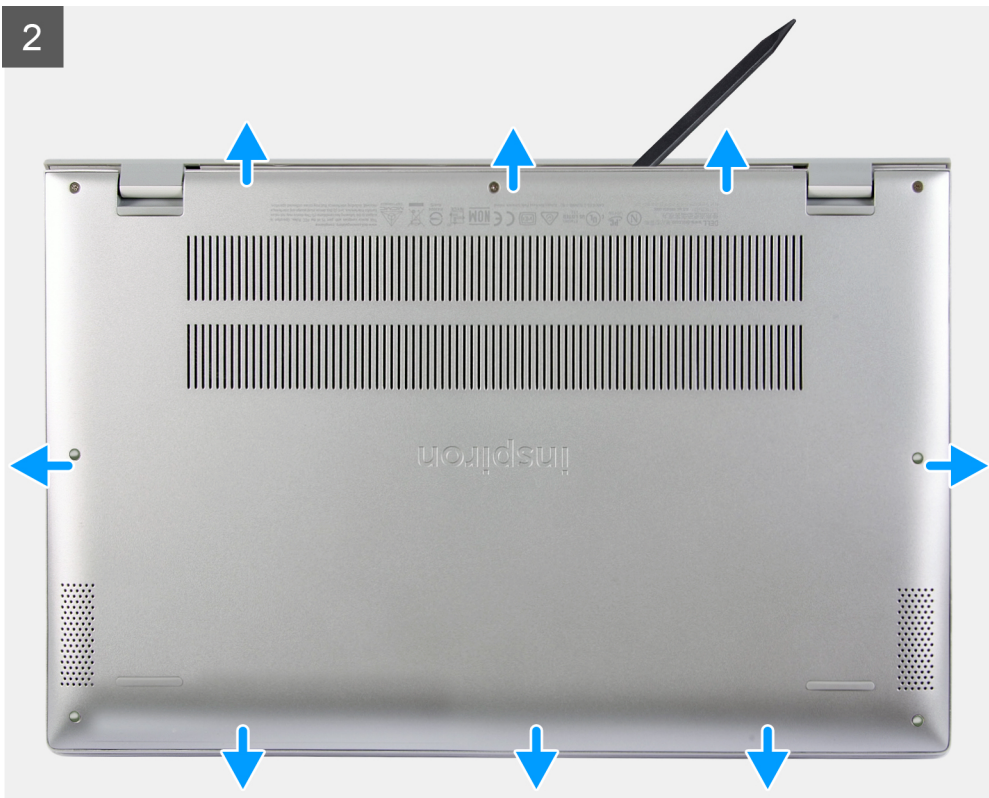


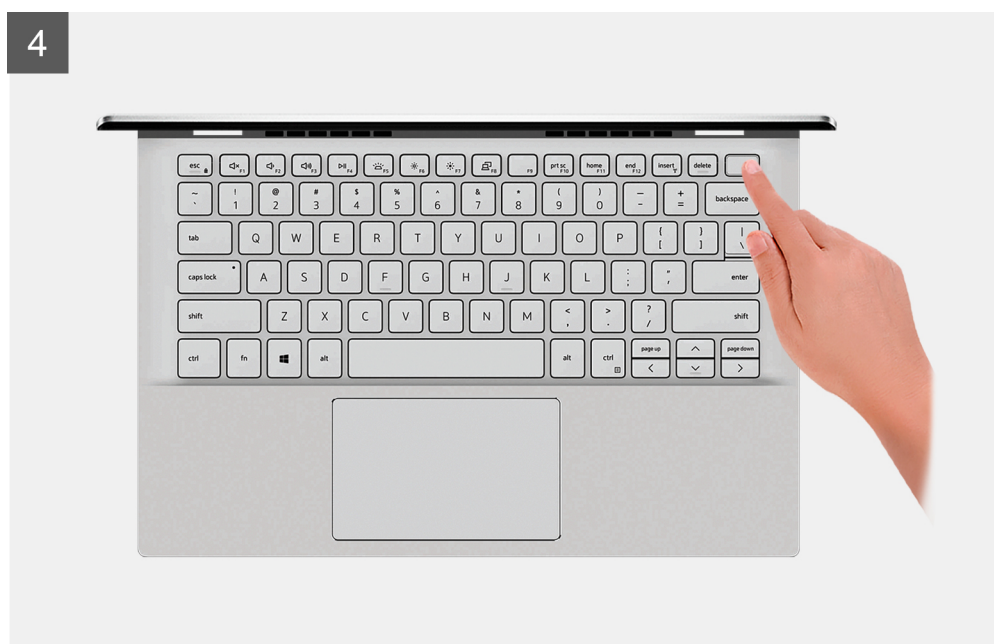
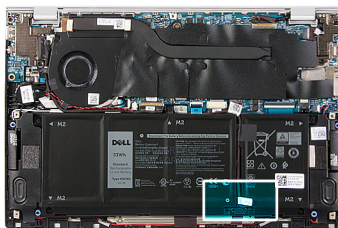
4x
M2x4

1



2





- 手順**
1. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリに固定している拘束ネジを緩めます。
 2. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリに固定している 4 本のネジ (M2x4) を取り外します。
 3. 左上隅から順に、プラスチック スクライブを使用してベース カバーを矢印の方向に持ち上げ、ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリから外します。
△注意: ベース カバーを損傷する可能性があるため、ヒンジのある側からベース カバーを引き出さないでください。
 4. ベース カバーを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリから取り外します。
iメモ: 次の手順は、PC から他のコンポーネントをさらに取り外す場合のみ行います。
 5. プル タブを使用して、バッテリー ケーブルをシステム ボードから外します。

6. 待機電力を逃がすため、PCの向きを変えて電源ボタンを15秒間押し続けます。

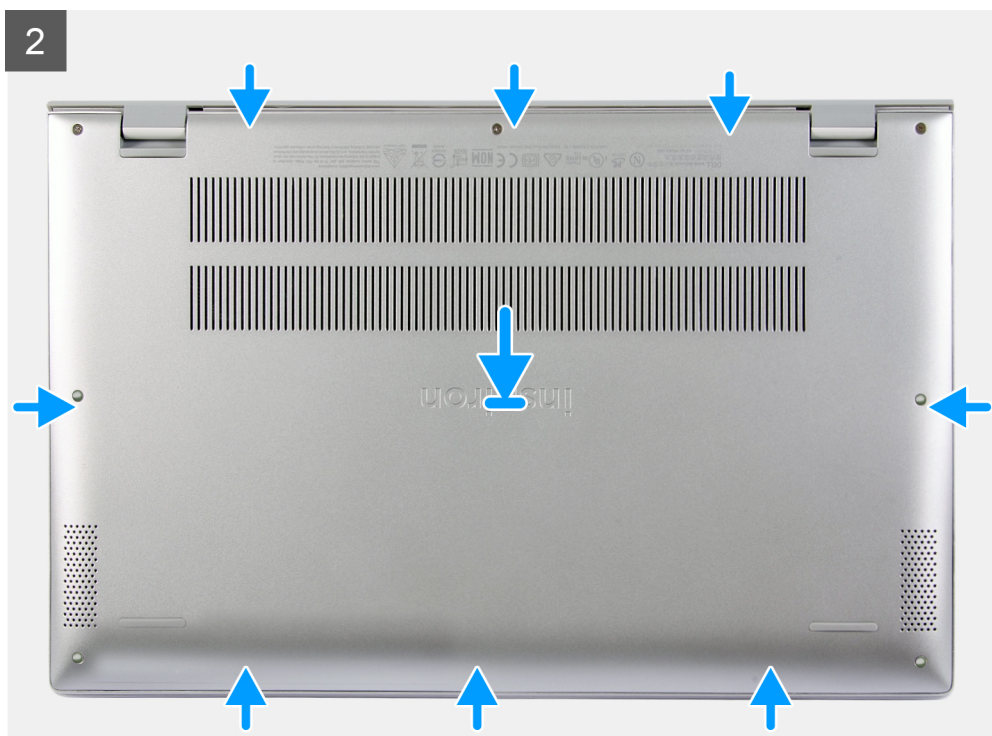
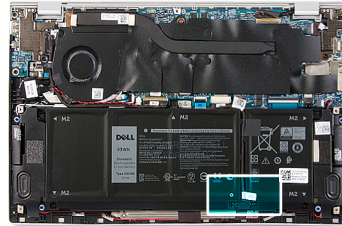
ベースカバーの取り付け

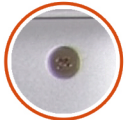
前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次のイメージは、ベースカバーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





3x



4x
M2x4

3



手順

1. 必要に応じて、バッテリーケーブルをシステム ボードに接続します。
2. ベースカバーのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせて、ベース カバーを所定の位置にはめ込みます。
3. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 4 本のネジ (M2x4) を取り付けます。
4. ベース カバーをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 3 本の拘束ネジを締めます。

次の手順

1. 「PC 内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

バッテリー

リチウムイオンバッテリーに関する注意事項

△ 注意:

- リチウムイオンバッテリーを取り扱う際は、十分に注意してください。
- システムから取り外す前に、できる限りバッテリーを放電してください。放電は、システムから AC アダプタを取り外してバッテリーを消耗させることで実行できます。
- バッテリーを破壊したり、落としたり、損傷させたり、バッテリーに異物を侵入させたりしないでください。
- バッテリーを高温にさらしたり、バッテリーパックまたはセルを分解したりしないでください。
- バッテリーの表面に圧力をかけないでください。
- バッテリーを曲げないでください。

- 種類にかかわらず、ツールを使用してバッテリーをこじ開けないでください。
- バッテリーやその他のシステム コンポーネントの偶発的な破裂や損傷を防ぐため、この製品のサービス作業中に、ネジを紛失したり置き忘れたりしないようにしてください。
- 膨張によってリチウムイオンバッテリーがコンピュータ内で詰まってしまう場合、穴を開けたり、曲げたり、押しつぶしたりすると危険なため、無理に取り出そうとしないでください。そのような場合は、デル テクニカル サポートにお問い合わせください。 www.dell.com/contactdell を参照してください。
- 必ず、 www.dell.com または Dell 認定パートナーおよび再販業者から正規のバッテリーを購入してください。

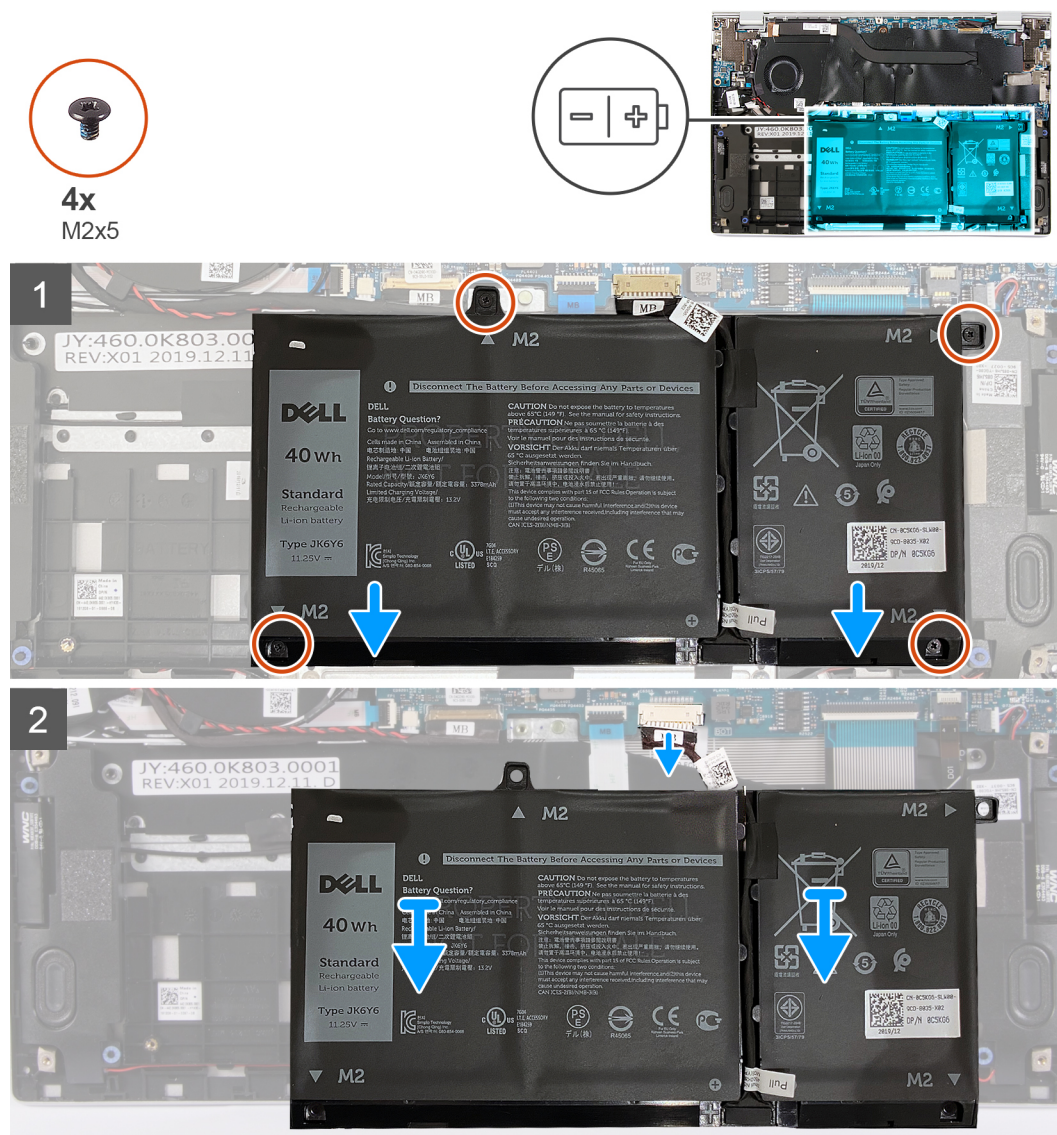
3 セルバッテリーの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前の手順に従います。
2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、バッテリーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している 4 本のネジ (M2x5) を取り外します。
2. バッテリーケーブルをシステムボードから外します。
3. バッテリーを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

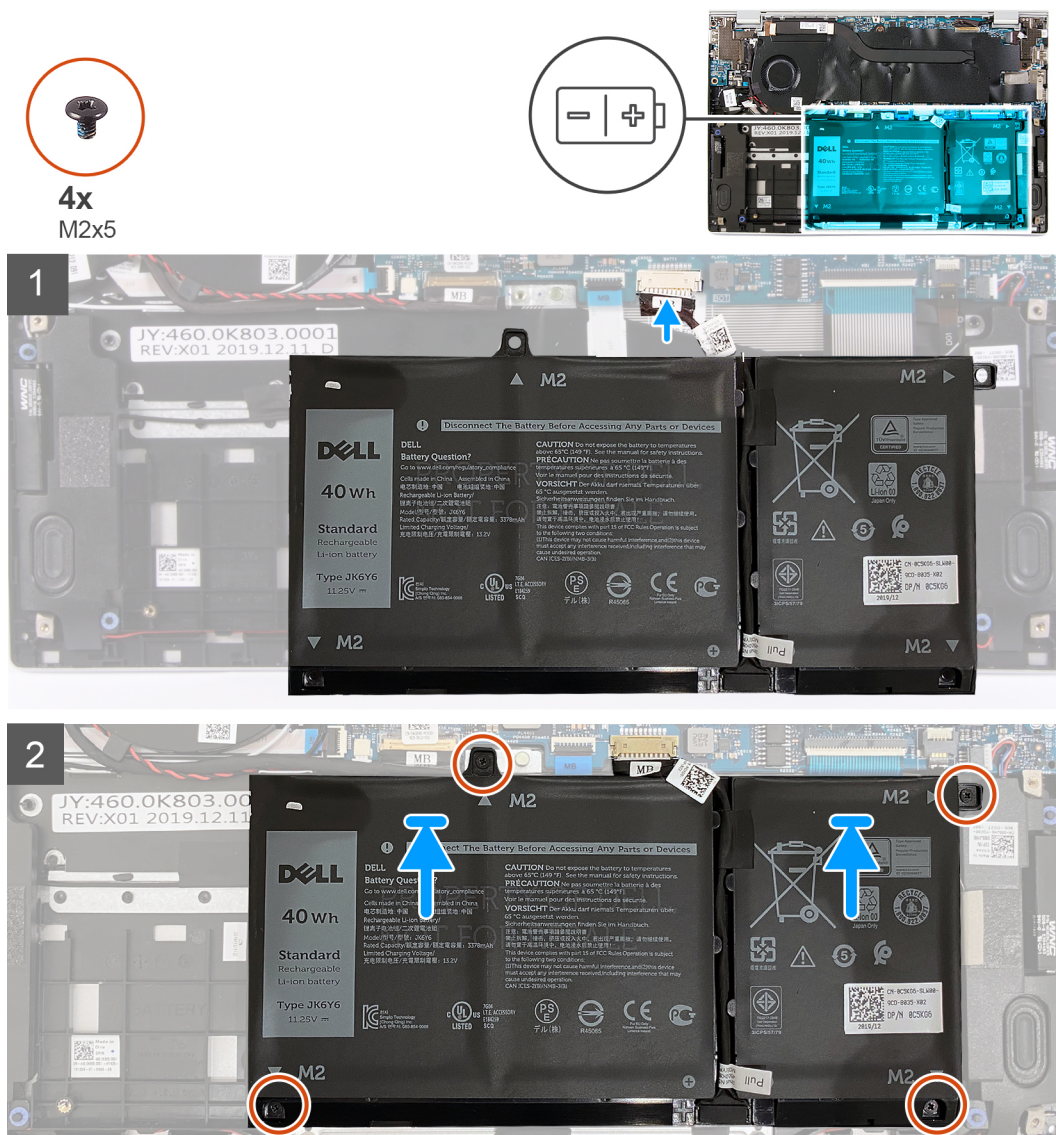
3 セル バッテリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、バッテリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. バッテリーのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
2. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する 4 本のネジ (M2x5) を取り付けます。
3. バッテリーケーブルをシステムボードに接続します。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

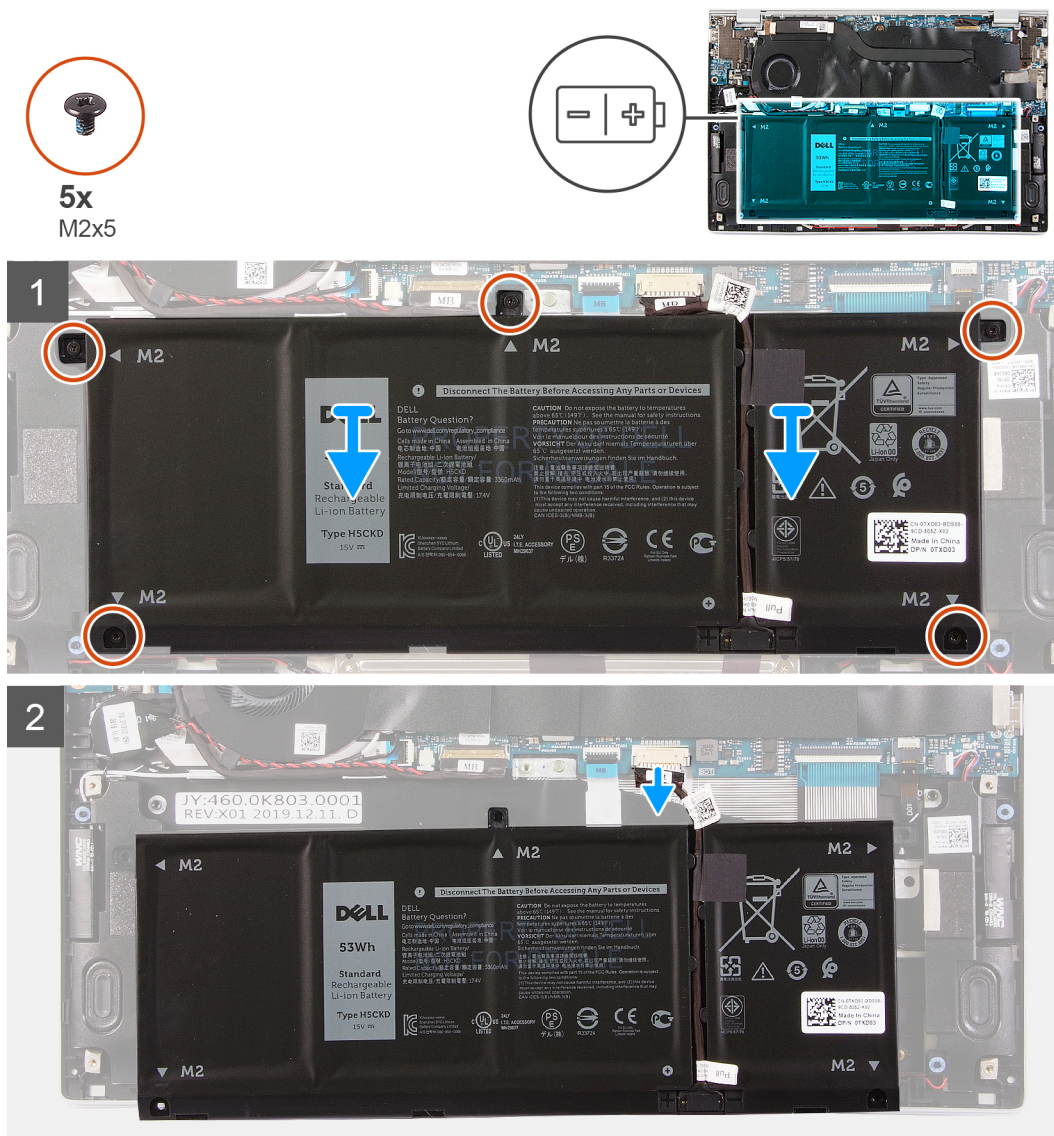
4 セル バッテリーの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前に手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、バッテリーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリに固定している5本のネジ（M2x5）を取り外します。
2. バッテリーケーブルをシステムボードから外します。
3. バッテリーを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリから取り外します。

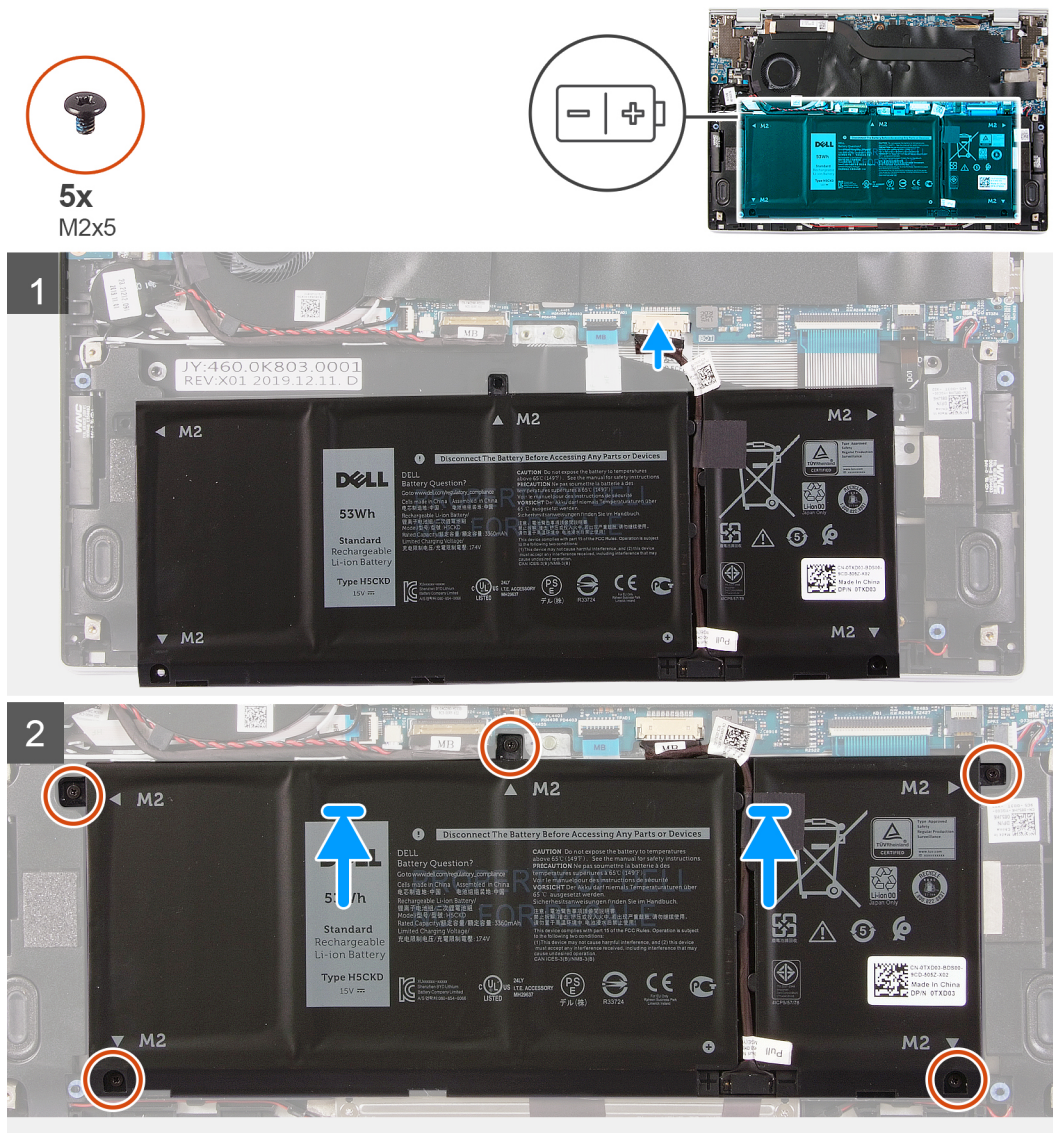
4セルバッテリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、バッテリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. バッテリーのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリのネジ穴に合わせます。
2. バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリに固定する5本のネジ（M2x5）を取り付けます。
3. バッテリーケーブルをシステムボードに接続します。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ソリッドステートデバイス

SSD の取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前に手順に従います。

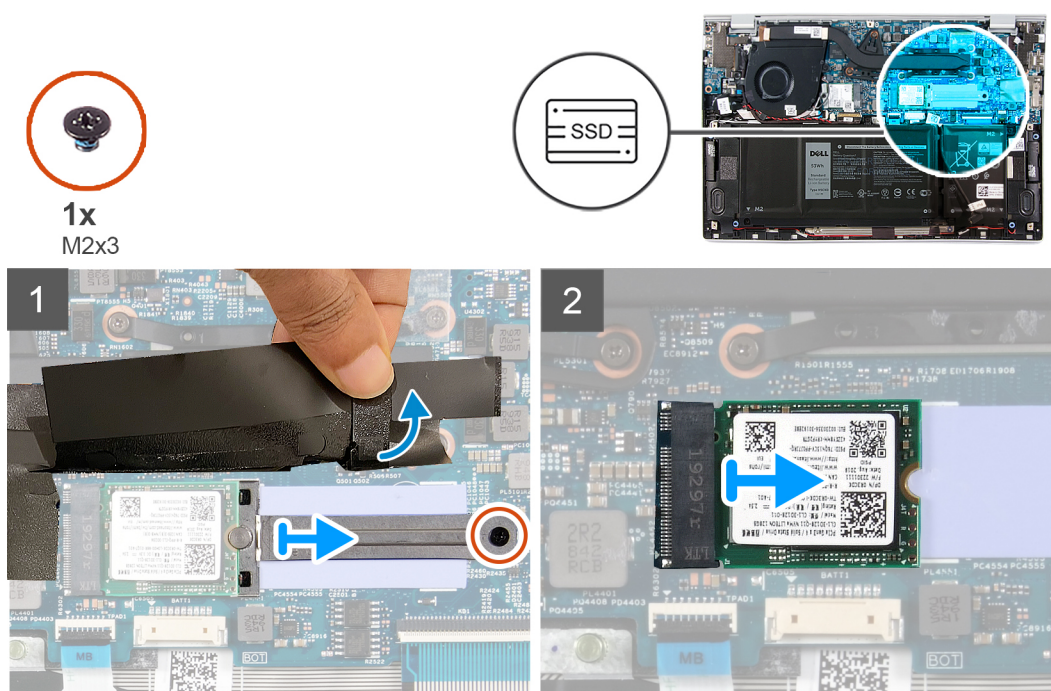
△ **注意:** SSD は非常に壊れやすいものです。ソリッドステートドライブの取り扱いには細心の注意を払ってください。

△ **注意:** データロスを防ぐため、PC の電源が入っている状態、またはスリープ状態のときに SSD を取り外さないでください。

2. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、SSD の場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. ソリッドステートドライブスロットを覆っている BoPET シートを持ち上げます。
2. ソリッドステートドライブブラケットをシステムボードに固定しているネジ (M2x3) を取り外します。
3. ソリッドステートドライブブラケットをスライドさせて、システムボードから取り外します。
4. SSD をスライドさせて、SSD スロットから取り外します。

ソリッドステートドライブの取り付け

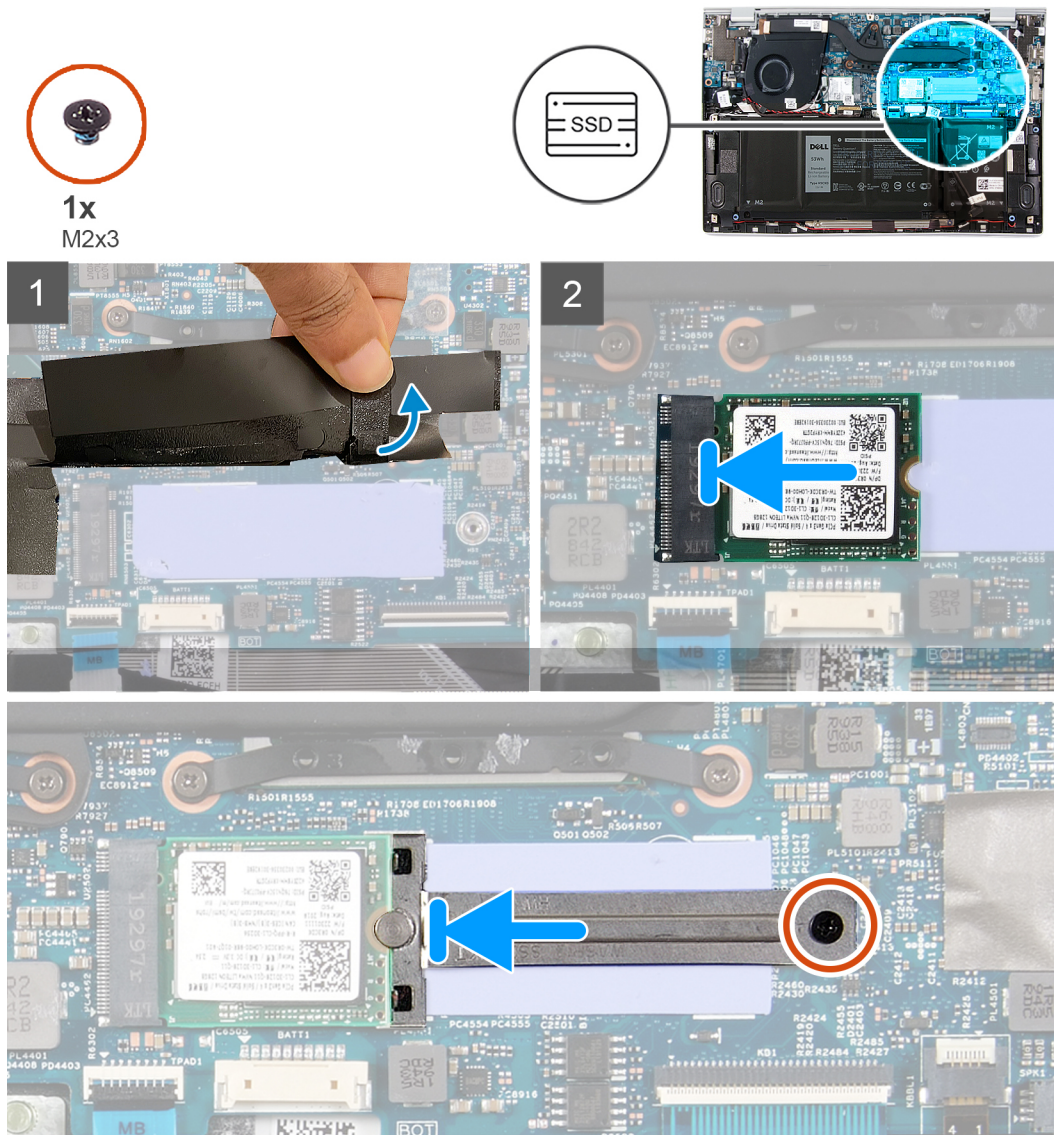
前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

△ **注意:** SSD は非常に壊れやすいものです。ソリッドステートドライブの取り扱いには細心の注意を払ってください。

このタスクについて

次の図は、SSD の場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. ソリッドステートドライブ スロットを覆っている BoPET シートを持ち上げます。
2. ソリッドステートドライブをソリッドステートドライブ スロットに差し込みます。
3. ソリッドステートドライブ ブラケットを差し込み、ソリッドステートドライブ ブラケットのネジ穴をシステム ボードのネジ穴の位置に合わせます。
4. ソリッドステートドライブ ブラケットをシステム ボードに固定するネジ (M2x3) を取り付けます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

コイン型電池

コイン型電池の取り外し

前提条件

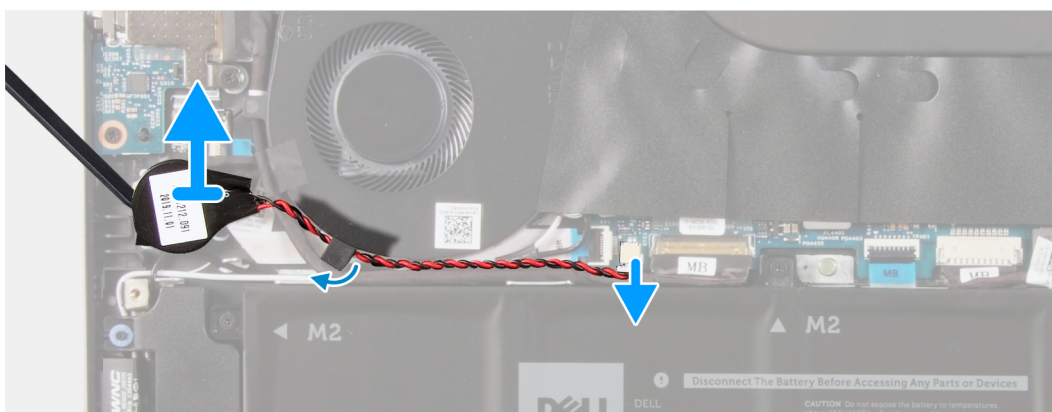
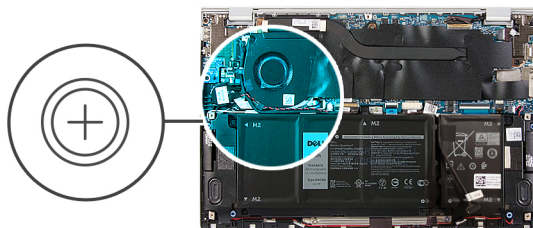
1. PC 内部の作業を始める前にの手順に従います。

注意: コイン型電池を取り外すと、BIOS セットアッププログラムの設定がデフォルト状態にリセットされます。コイン型電池を取り外す前に、BIOS セットアッププログラムの設定を書き留めておくことをお勧めします。

2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

次の図はコイン型電池の場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. コイン型電池ケーブルをシステム ボードから外します。
2. コイン型電池ケーブルを配線ガイドから取り外します。
3. コイン型電池をパームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

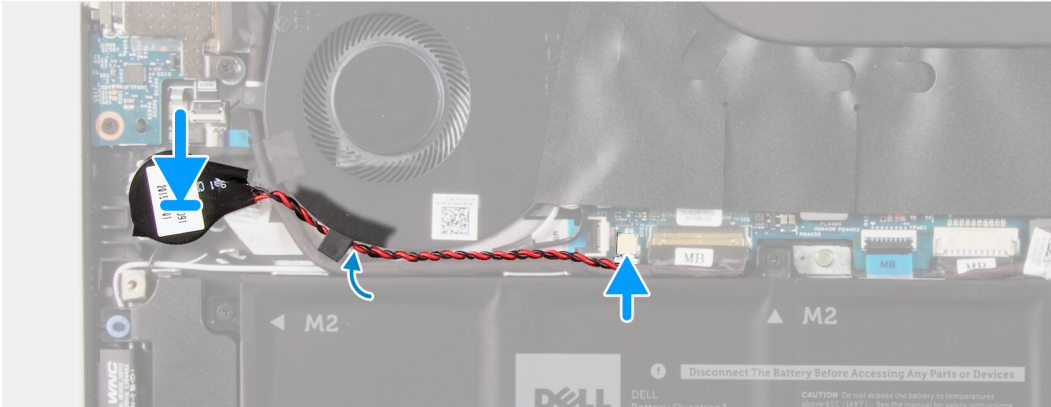
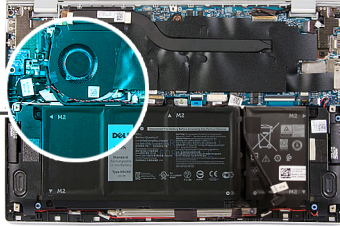
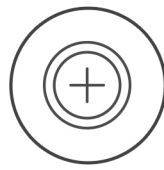
コイン型電池の取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、コイン型電池の場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. コイン型電池をパームレストとキーボードアセンブリのスロットに貼り付けます。
2. コイン型電池ケーブルを配線ガイドを通して配線します。
3. コイン型電池ケーブルをシステムボードに接続します。

次の手順

1. 4セルバッテリーの取り付け
2. 3セルバッテリーの取り付け
3. ベースカバーを取り付けます。
4. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ワイヤレスカード

ワイヤレスカードの取り外し

前提条件

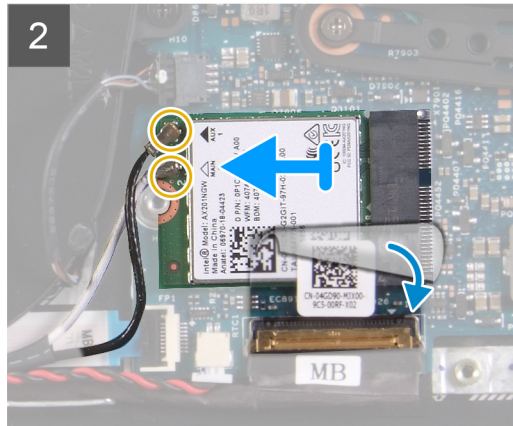
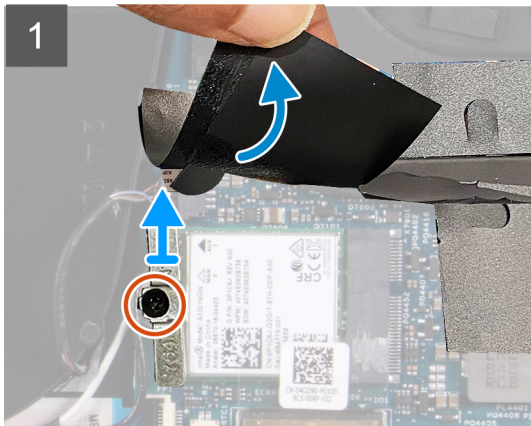
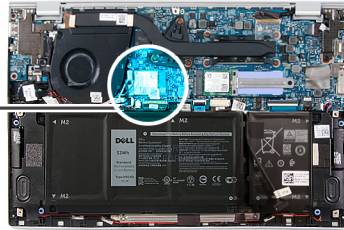
1. PC内部の作業を始める前
2. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、WLANカードの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x2.5



手順

1. ワイヤレス カード スロットを覆っている BoPET シートを持ち上げます。
2. ワイヤレス カード ブラケットをワイヤレス カードに固定しているネジ (M2x2.5) を取り外し、ワイヤレス カード ブラケットを持ち上げてワイヤレス カードから外します。
3. アンテナケーブルをワイヤレスカードから外します。
4. ワイヤレス カードをシステム ボードに固定しているテープを剥がします。
5. ワイヤレス カードをスライドさせて、ワイヤレスカード スロットから取り外します。

ワイヤレス カードの取り付け

前提条件

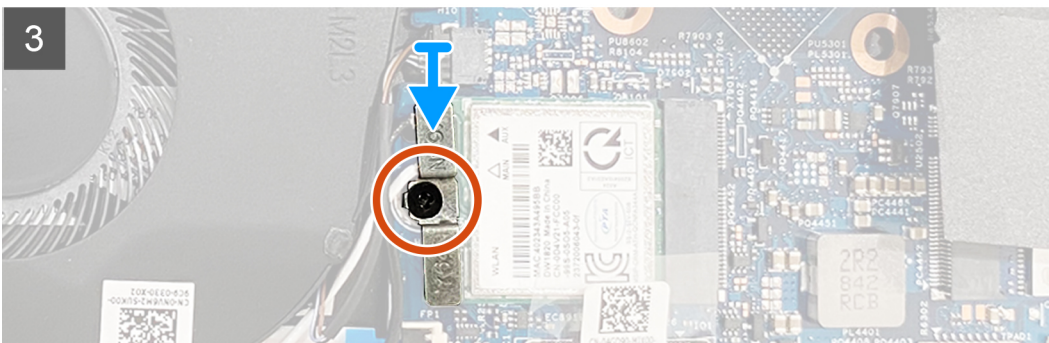
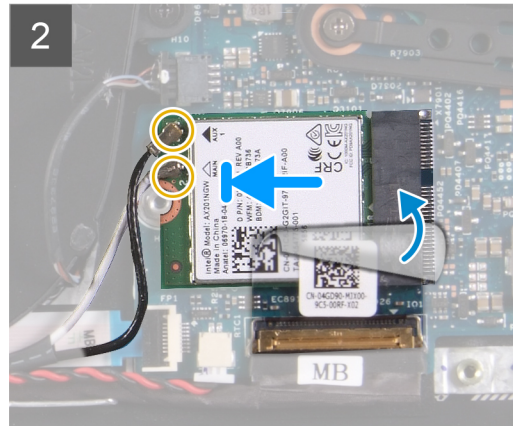
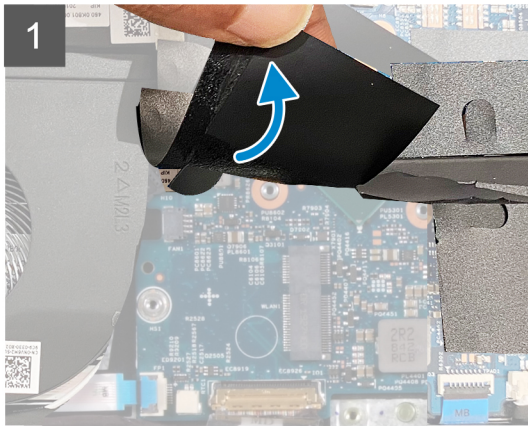
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、WLAN カードの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x
M2x2.5



手順

1. ワイヤレスカードスロットを覆っているBoPETシートを持ち上げます。
2. ワイヤレスカードの切り込みをワイヤレスカードスロットのタブに合わせて、ワイヤレスカードを傾けてワイヤレスカードスロットに差し込みます。
3. アンテナケーブルをワイヤレスカードに接続します。

次の表に、お使いのPCがサポートするワイヤレスカード用アンテナケーブルの色分けを示します。

表 2. アンテナケーブルの色分け

ワイヤレスカードのコネクター	アンテナケーブルの色
メイン (白色の三角形)	白色
補助 (黒色の三角形)	黒色

4. ワイヤレスカードをシステムボードに固定するテープを貼り付けます。
5. ワイヤレスカードブラケットをワイヤレスカードに合わせてセットします。
6. ワイヤレスカードブラケットをワイヤレスカードに固定するネジ (M2x2.5) を取り付けます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ファン

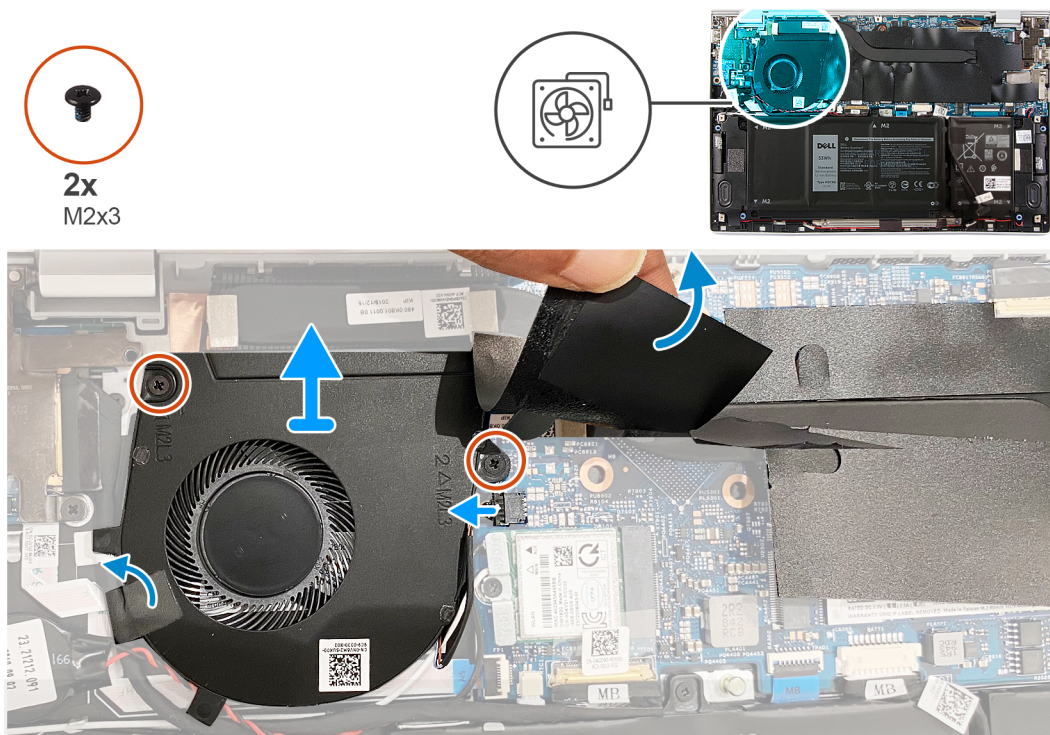
ファンの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前
2. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

次の画像はファンの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. I/O ボード ケーブルをファンに固定しているテープをはがします。
2. システム ボード上のファンのねじを覆っている BoPET シートを持ち上げます。
3. ファンをシステム ボードに固定している 2 本のネジ (M2x3) を取り外します。
4. ファン ケーブルをシステム ボードから外します。
5. ファンを持ち上げて、システム ボードから取り外します。

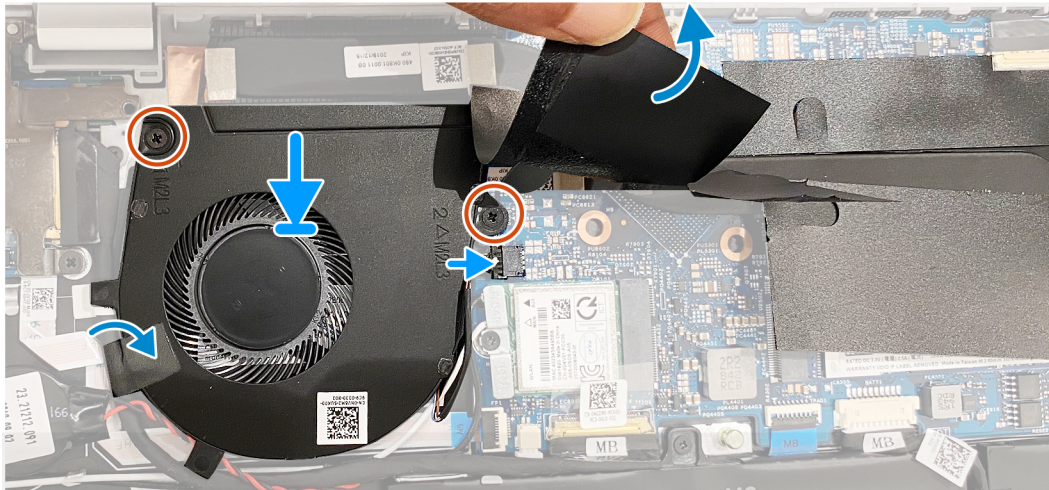
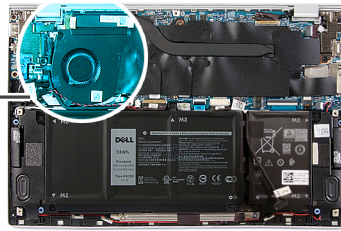
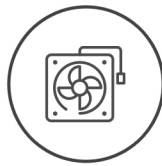
ファンの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像はファンの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. ファンのネジ穴を覆っている BoPET シートを持ち上げます。
2. ファンのネジ穴をシステム ボードのネジ穴の位置に合わせます。
3. ファンをシステム ボードに固定する 2 本のネジ (M2x3) を取り付けます。
4. ファン ケーブルをシステム ボードに接続します。
5. I/O ボード ケーブルをファンに固定するテープを貼り付けます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

スピーカー

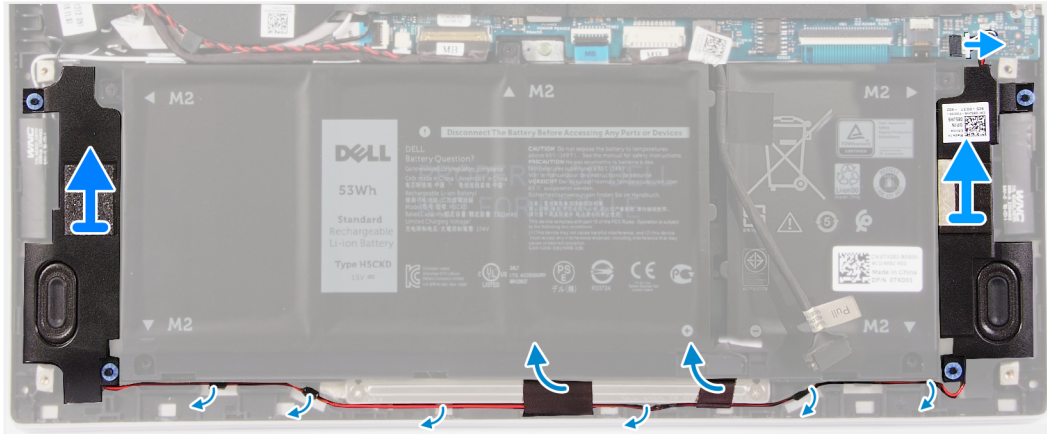
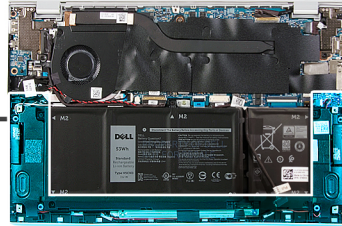
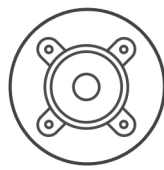
スピーカーの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前 の手順に従います。
2. ベース カバーを取り外します。

このタスクについて

以下の画像はスピーカーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. スピーカー ケーブルをシステム ボードから外します。
2. スピーカー ケーブルをバッテリーに固定しているテープを剥がします。
3. スピーカー ケーブルの配線をメモしてから、スピーカー ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーの配線ガイドから取り外します。
4. スピーカーを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

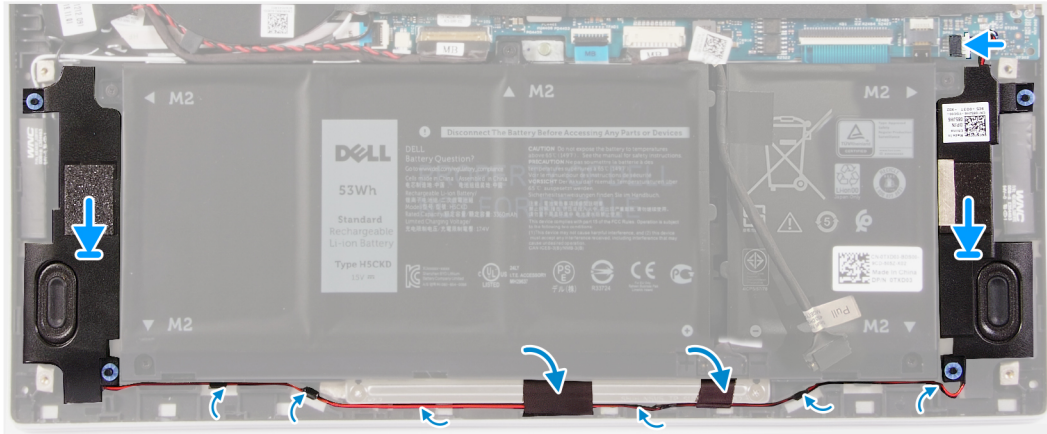
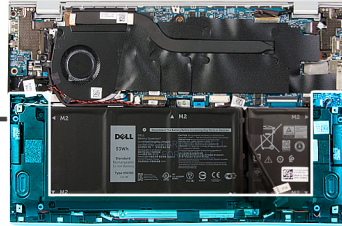
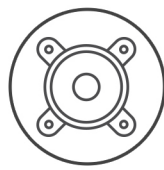
スピーカーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

以下の画像はスピーカーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. 左右のスピーカーをパームレストとキーボードアセンブリのそれぞれのスロットに差し込みます。
2. スピーカーケーブルをパームレストとキーボードアセンブリのそれぞれの配線ガイドに沿って配線します。
3. スピーカーケーブルをバッテリーに固定するテープを貼り付けます。
4. 左右のスピーカーケーブルをシステムボードのそれぞれのコネクタに接続します。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイアセンブリ

ディスプレイアセンブリの取り外し

前提条件

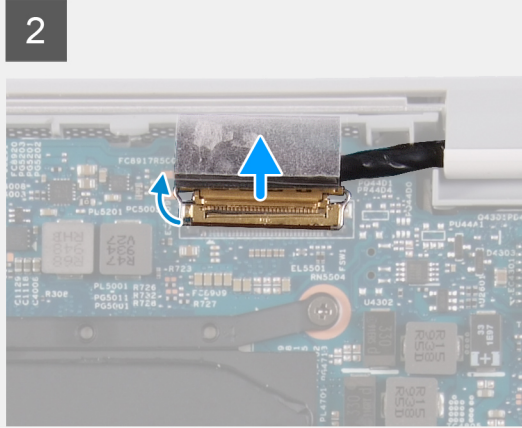
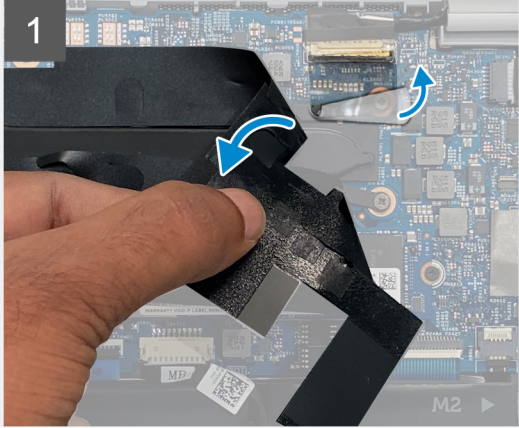
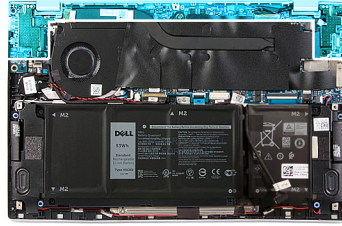
1. PC内部の作業を始める前
2. ベースカバーを取り外します。

このタスクについて

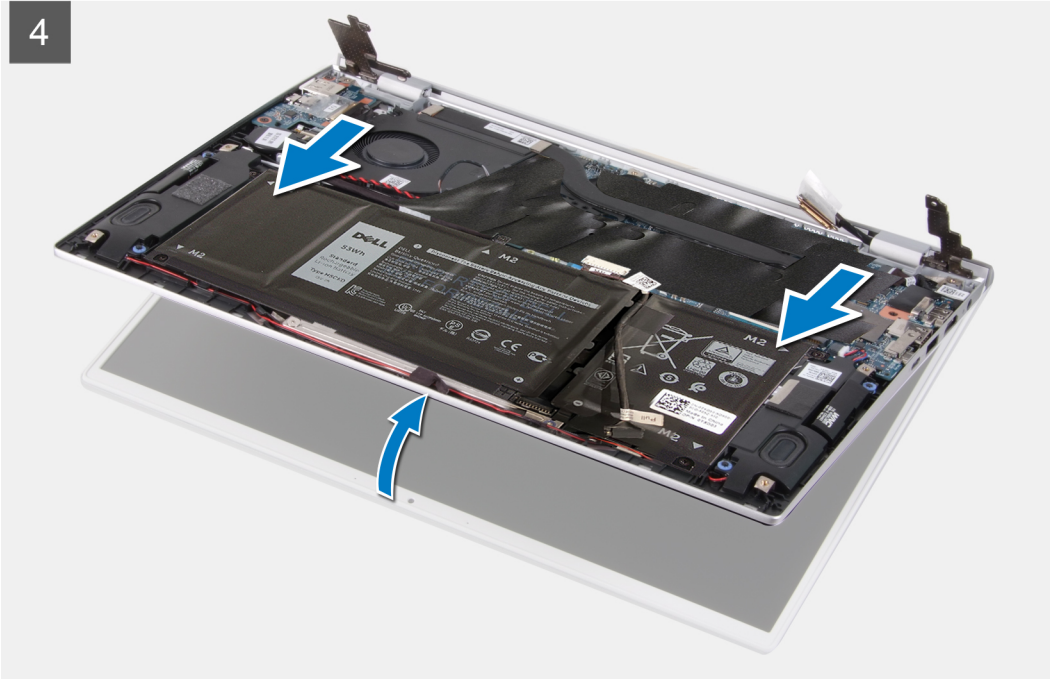
次の画像はディスプレイアセンブリの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



3x
M2x2



4



手順

1. システム ボード上のモニター ケーブルを覆っている BoPET シートを持ち上げます。
2. ラッチを開き、システム ボードからモニター ケーブルを外します。
3. 左のヒンジをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x2) を取り外します。
4. 右のヒンジをシステム ボードおよびパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているネジ (M2x2) を取り外します。
5. ディスプレイ アセンブリーを傾けて開き、パームレストとキーボード アセンブリーをディスプレイ アセンブリーから引き出します。
6. 前述の手順をすべて実行すると、ディスプレイ アセンブリーが残ります。



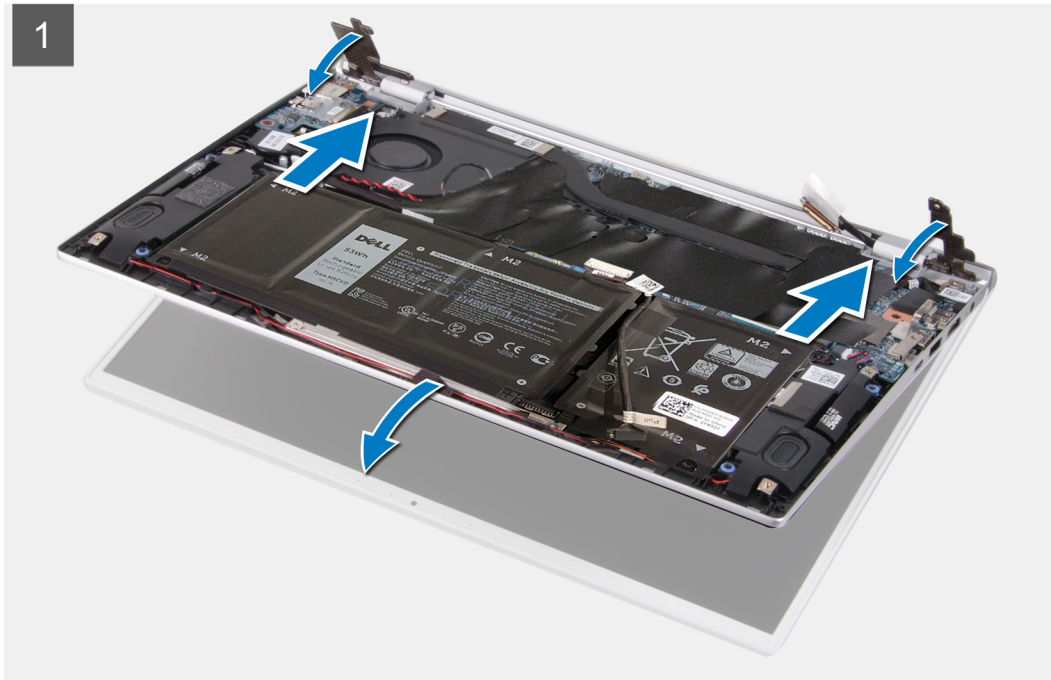
ディスプレイアセンブリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

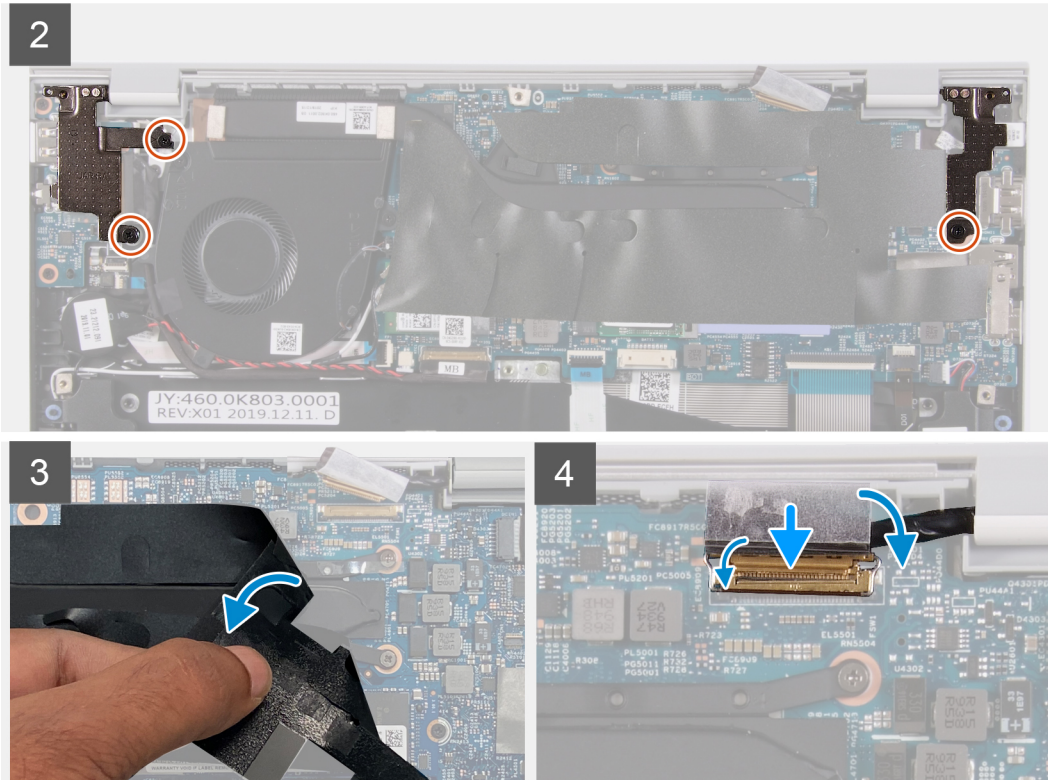
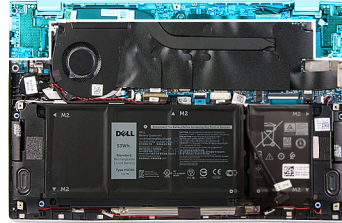
このタスクについて

次の画像はディスプレイアセンブリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。





3x
M2x2



手順

1. ディスプレイ アセンブリーをきれいな面に置きます。
2. パームレストとキーボード アセンブリーをディスプレイ アセンブリーの角度に合わせてセットします。
3. ディスプレイ ヒンジのネジ穴をパームレストとキーボード アセンブリーのネジ穴に合わせます。
4. 右のヒンジをシステム ボード、パームレスト、およびキーボード アセンブリーに固定するネジ (M2x2) を取り付けます。
5. 左のヒンジをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ (M2x2) を取り付けます。
6. モニター ケーブルコネクタをシステム ボードに固定している BoPET シートを持ち上げます。
7. モニター ケーブルをシステム ボードのコネクタに接続します。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

タッチパッド

タッチパッドの取り外し

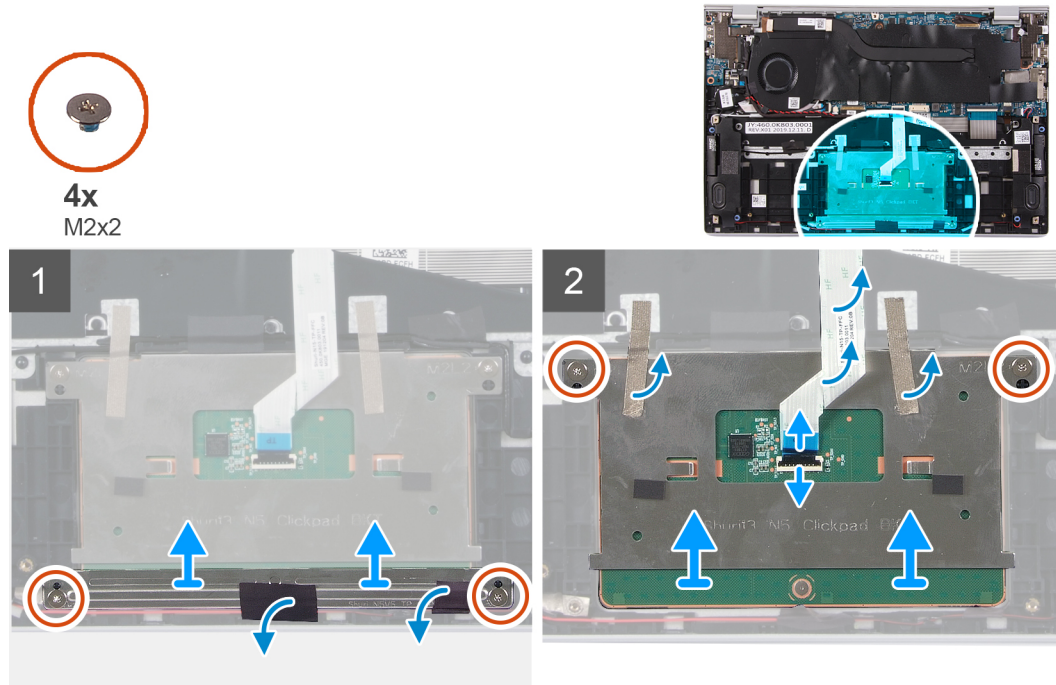
前提条件

1. PC 内部の作業を始める前

2. ベース カバーを取り外します。
3. 4セル バッテリーを取り外します。
4. 3セル バッテリーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、タッチパッドの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. スピーカー ケーブルをタッチパッド ブラケットに固定しているテープを剥がします。
2. タッチパッド ブラケットをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x2) を取り外します。
3. タッチパッドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x2) を取り外します。
4. ラッチを開き、タッチパッド ケーブルをシステム ボードから外します。
5. タッチパッドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているテープをはがします。
6. タッチパッドをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

タッチパッドの取り付け

前提条件

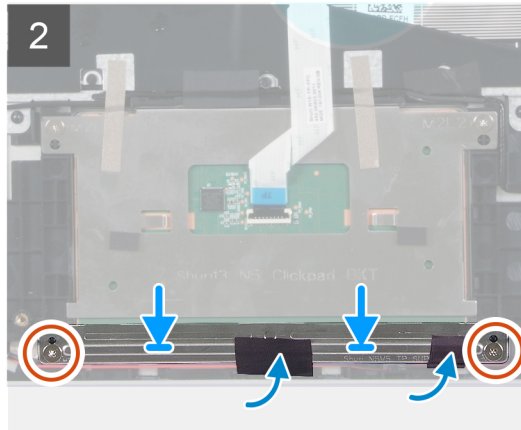
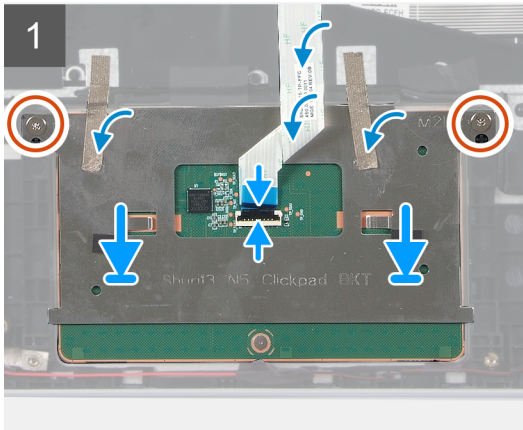
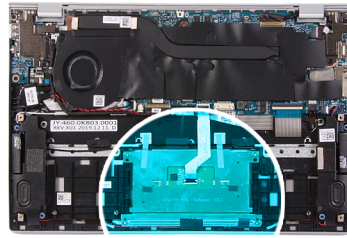
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、タッチパッドの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



4x
M2x2



手順

1. タッチパッドをパームレストとキーボードアセンブリのスロットに合わせてセットします。
2. タッチパッドをパームレストとキーボードアセンブリに固定する2本のネジ (M2x2) を取り付けます。
3. タッチパッドをパームレストとキーボードアセンブリに固定するテープを貼り付けます。
4. タッチパッドケーブルを接続し、ラッチを閉じてケーブルをシステムボードに固定します。
5. タッチパッドブラケットをパームレストとキーボードアセンブリのスロットに合わせてセットします。
6. タッチパッドブラケットをパームレストとキーボードアセンブリに固定する2本のネジ (M2x2) を取り付けます。
7. スピーカーケーブルをタッチパッドブラケットに固定するテープを貼り付けます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 4セルバッテリーの取り付け
3. 3セルバッテリーの取り付け
4. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ヒートシンク

ヒートシンクの取り外し

前提条件

1. 「PC内部の作業を始める前に」の手順に従います。
 - △ **注意:** プロセッサの冷却効果を最大にするために、ヒートシンクの放熱部分には触れないでください。油脂が付着すると、サーマルグリースの放熱機能が低下する場合があります。
 - ⓘ **メモ:** 通常のオペレーション中に、ヒートシンクが高温になる場合があります。温度が十分に下がりヒートシンクが冷えるのを待って、触ってください。
2. ベースカバーを取り外します。

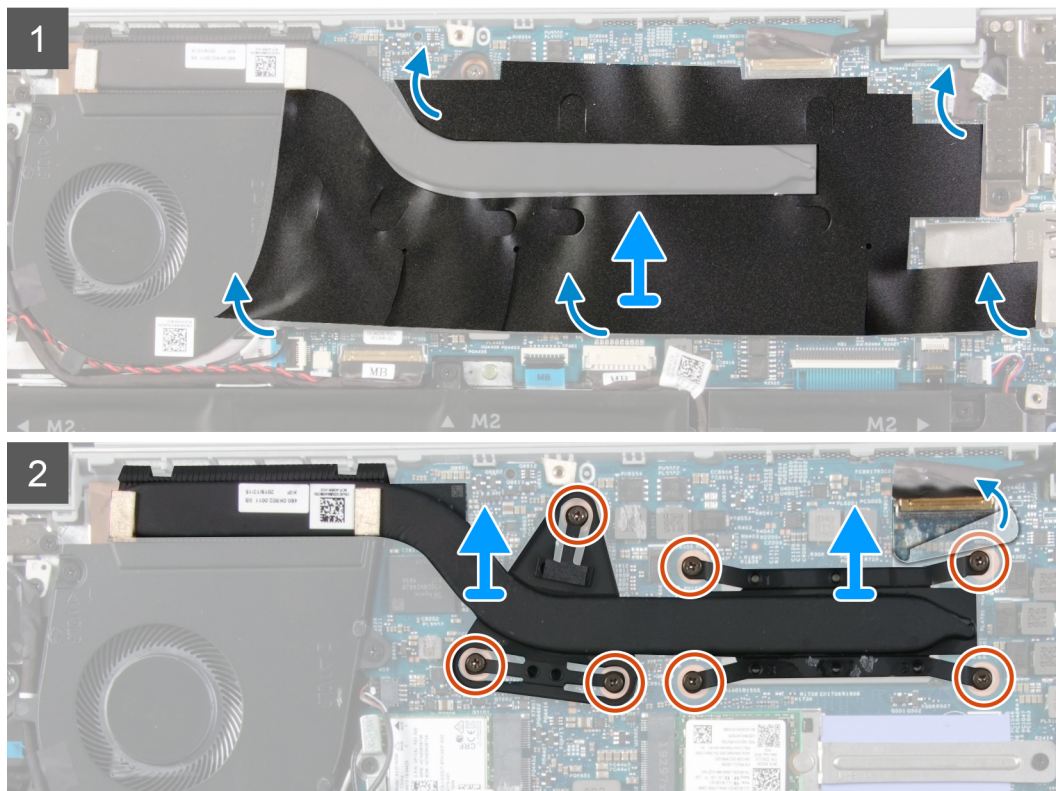
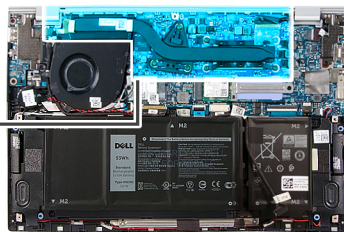
このタスクについて

次の図は、ヒートシンクの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。

専用グラフィックス カード搭載の PC のヒート シンク



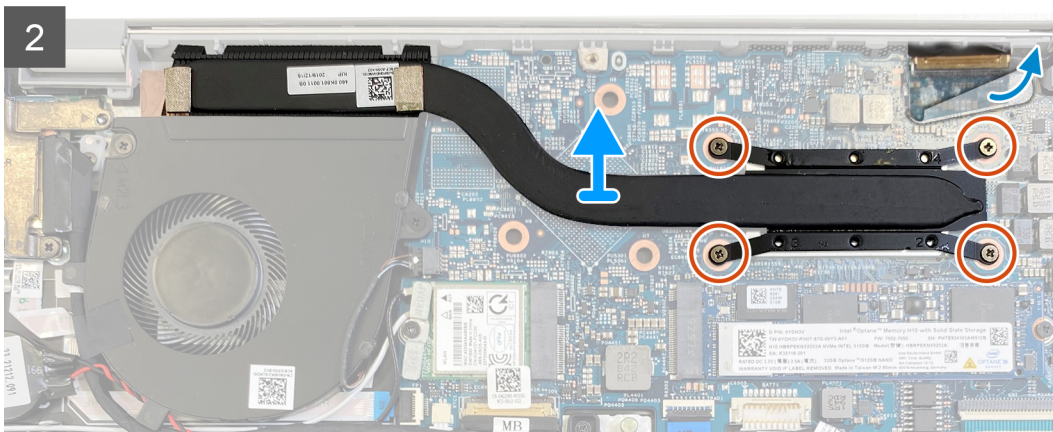
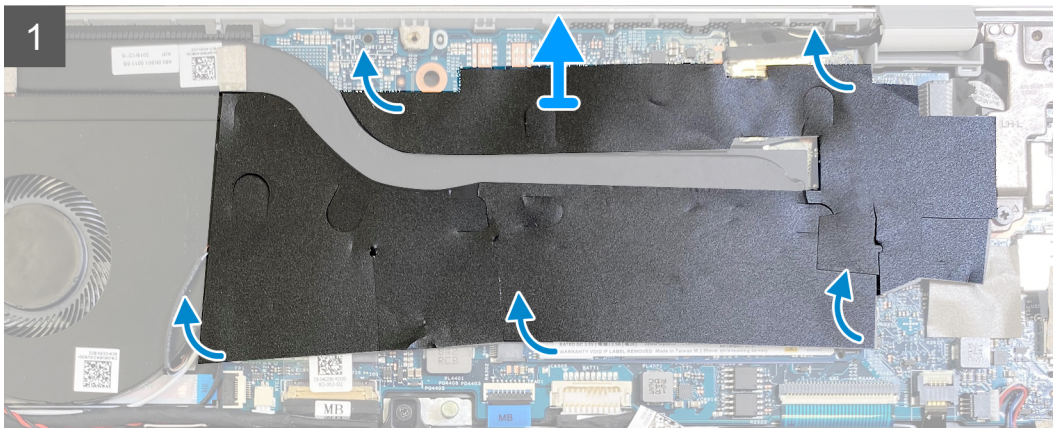
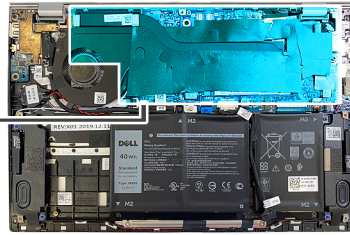
7x



内蔵グラフィックス カード搭載の PC のヒート シンク



4x



手順

1. システム ボード上のヒートシンクを覆っているマイラーテープを剥がします。
2. 専用グラフィックスカードを搭載したPCの場合、降順 (7>6>5>4>3>2>1) で、ヒートシンクをシステムボードに固定している7本の拘束ネジを緩めます。
3. 内蔵グラフィックスカードを搭載したPCの場合、降順 (4>3>2>1) で、ヒートシンクをシステムボードに固定している4本の拘束ネジを緩めます。
4. ヒートシンクを持ち上げて、システムボードから取り外します。

ヒートシンクの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

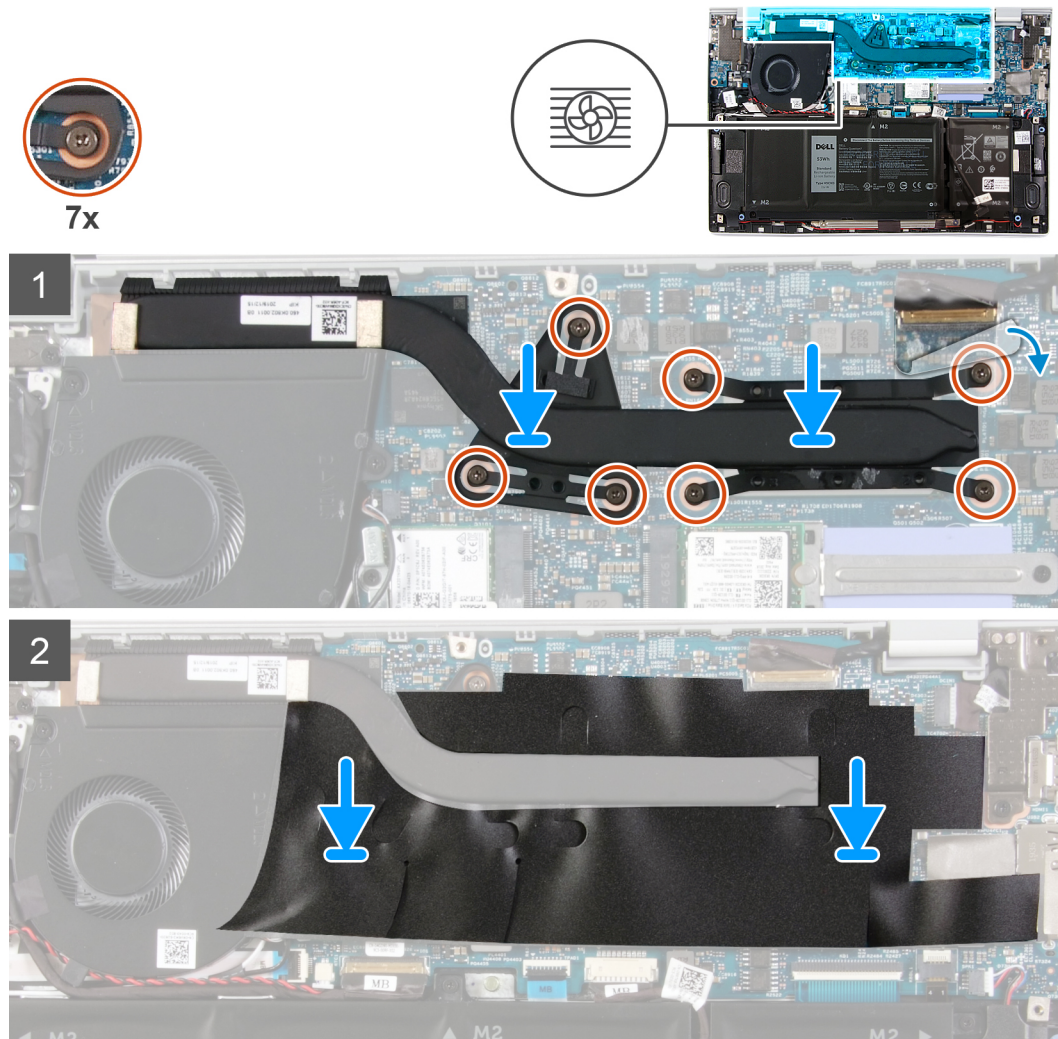
△注意: ヒートシンクの位置が正しく合っていないと、システムボードとプロセッサを損傷する可能性があります。

①メモ: システムボードまたはヒートシンクのいずれかを取り付ける場合は、熱伝導性を確保するために、キット内のサーマルパッド/ペーストを使用してください。

このタスクについて

次の図は、ヒートシンクの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。

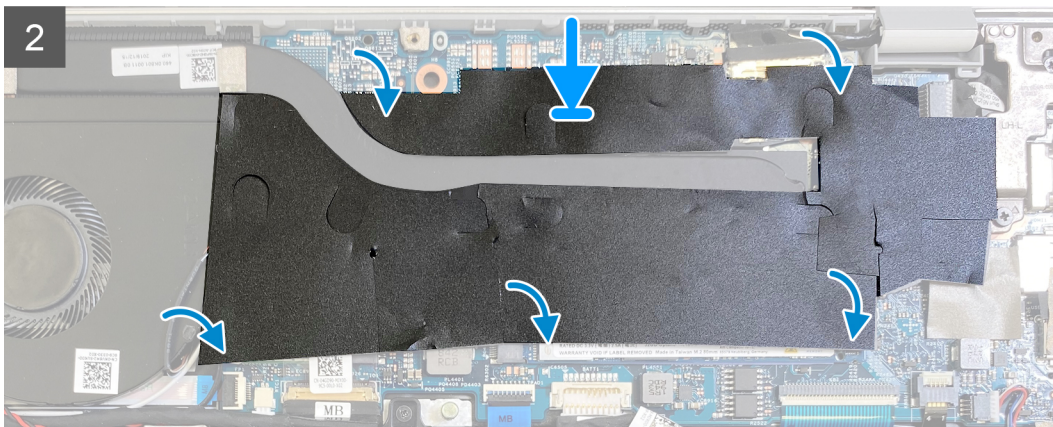
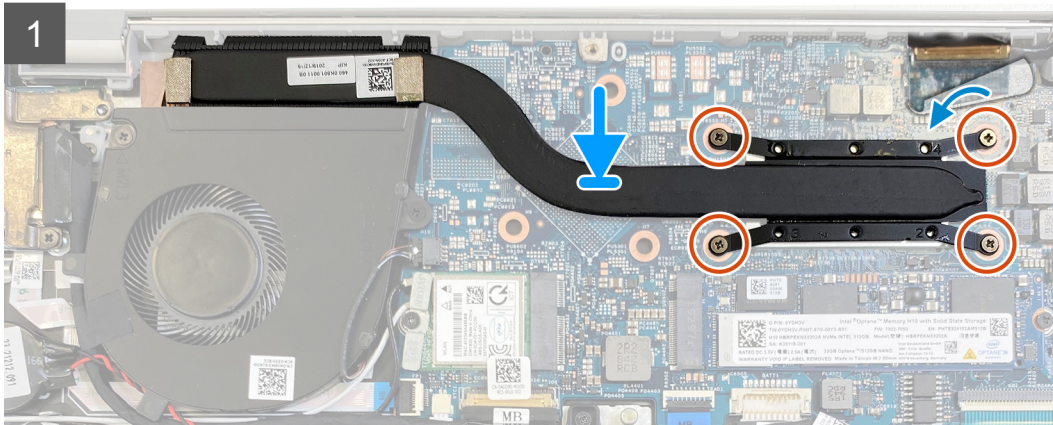
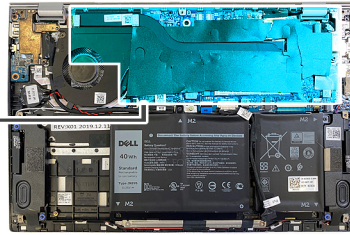
専用グラフィックスカード搭載のPCのヒートシンク



内蔵グラフィックスカード搭載のPCのヒートシンク



4x



手順

1. ヒートシンクのネジ穴をシステム ボードのネジ穴に合わせます。
2. 専用グラフィックス カードを搭載した PC の場合、昇順 (1>2>3>4>5>6>7) で、ヒート シンクをシステム ボードに固定する 7 本の拘束ネジを締めます。
3. 内蔵グラフィックス カードを搭載した PC の場合、昇順 (1>2>3>4) で、ヒート シンクをシステム ボードに固定する 4 本の拘束ネジを締めます。
4. システム ボード上のヒート シンクを覆う透明テープを貼り付けます。

次の手順

1. ベース カバーを取り付けます。
2. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

電源アダプター ポート

電源アダプター ポートの取り外し

前提条件

1. PC 内部の作業を始める前に、手順に従います。

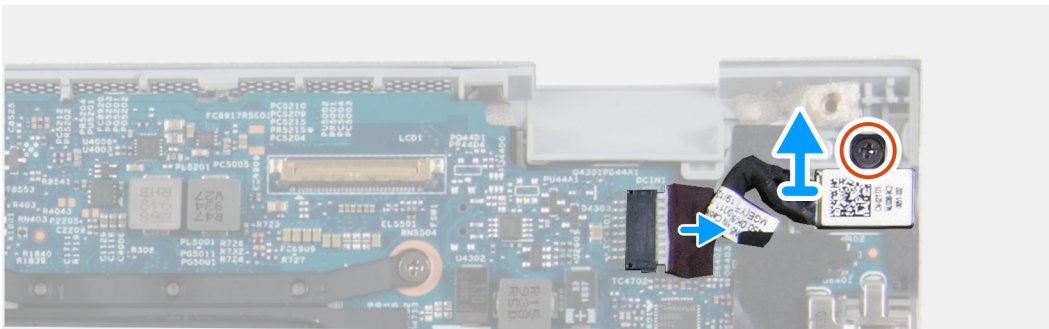
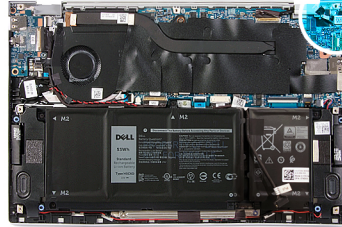
2. ベース カバーを取り外します。
3. ディスプレイ アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、電源アダプタ ポートの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x3



手順

1. 電源アダプター ポートをシステム ボードに固定しているネジ (M2x3) を取り外します。
2. 電源アダプターポートケーブルをシステム ボードから外します。
3. 電源アダプター ポートをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

電源アダプター ポートの取り付け

前提条件

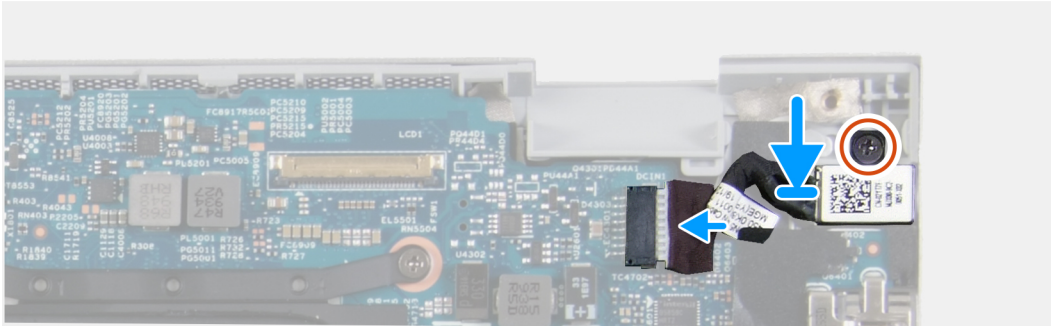
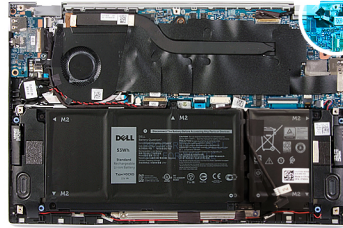
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、電源アダプタ ポートの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



1x
M2x3



手順

1. 電源アダプターポートケーブルをシステムボードに接続します。
2. 電源アダプターポートをパームレストとキーボードアセンブリーに固定するネジ（M2x3）を取り付けます。

次の手順

1. ベースカバーを取り付けます。
2. 「PC内部の作業を終えた後に」の順に従います。

I/O ボード

I/O ボードの取り外し

前提条件

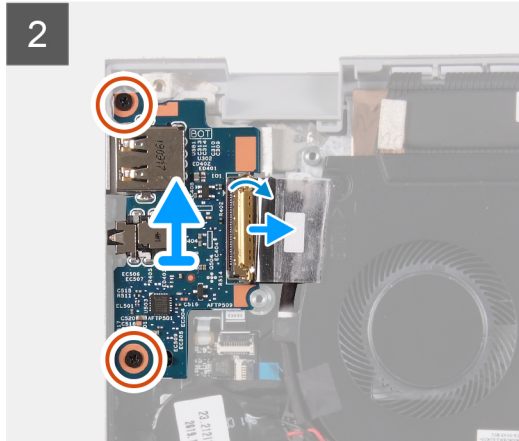
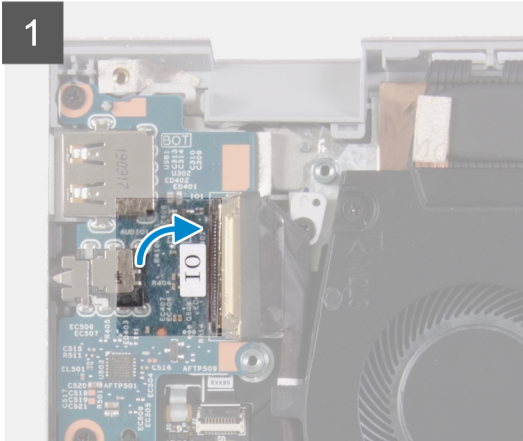
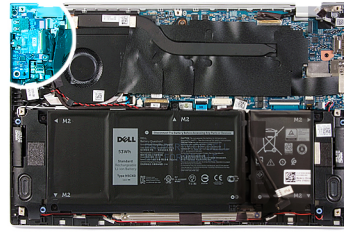
1. PC内部の作業を始める前の手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。
3. ディスプレイアセンブリーを取り外します。

このタスクについて

次の図は、I/Oボードの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



2x
M2x3



手順

1. I/O ボードケーブルを I/O ボードに固定しているテープを剥がします。
2. ラッチを開き、I/O ボードケーブルを I/O ボードから外します。
3. I/O ボード ケーブルをファンに固定しているテープを剥がします。
4. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x3) を取り外します。
5. I/O ボードを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

I/O ボードの取り付け

前提条件

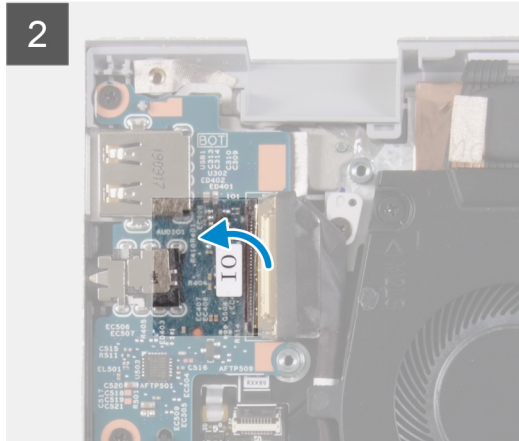
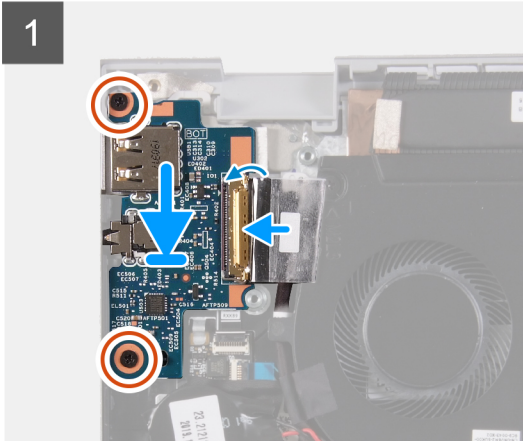
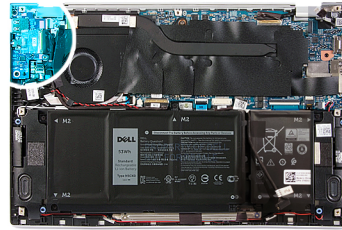
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、I/O ボードの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



2x
M2x3



手順

1. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに合わせてセットします。
2. I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定する 2 本のネジ (M2x3) を取り付けます。
3. I/O ボード ケーブルを接続し、ラッチを閉じて I/O ボードにケーブルを固定します。
4. I/O ボード ケーブルをファンに固定するテープを貼り付けます。
5. I/O ボードケーブルを I/O ボードに固定するテープを貼り付けます。

次の手順

1. ファンを取り付けます。
2. 3セルバッテリーの取り付け
3. 4セルバッテリーの取り付け
4. ベースカバーを取り付けます。
5. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

システム ボード

システム ボードの取り外し

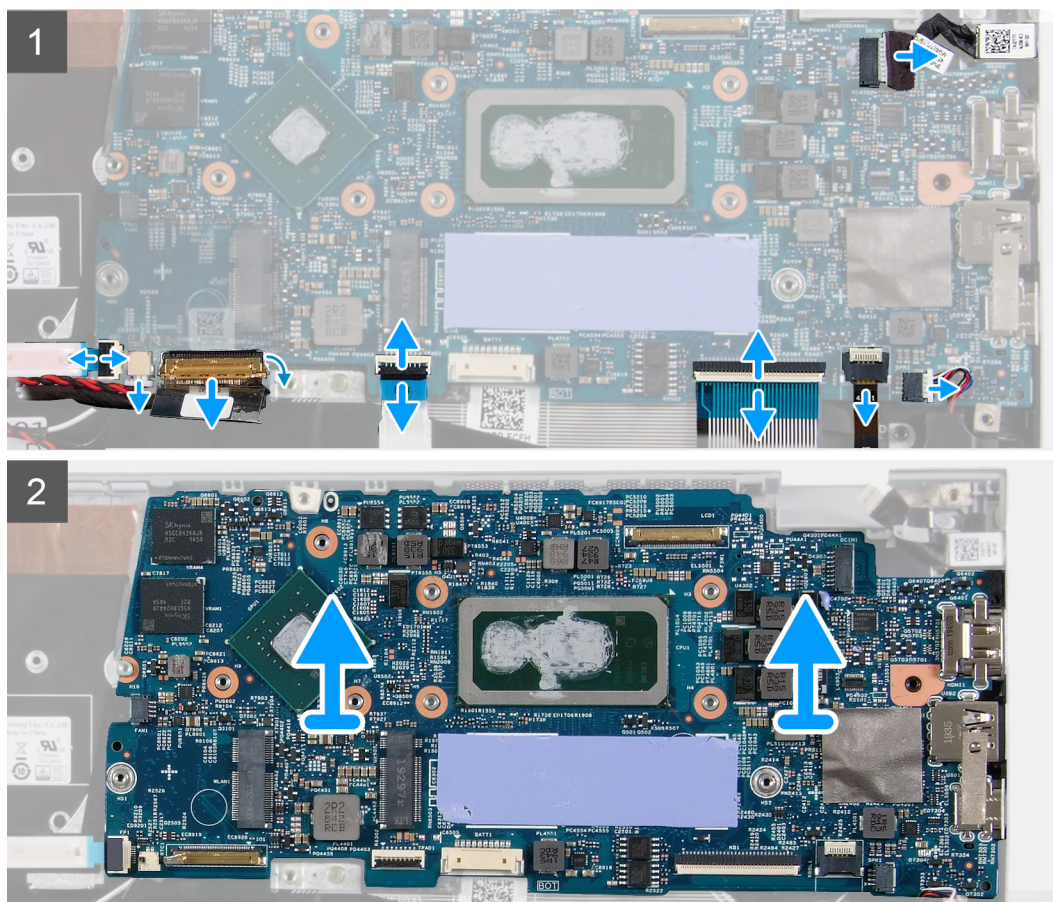
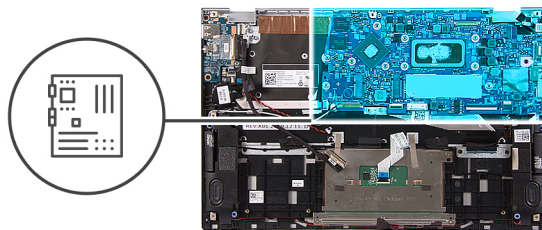
前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」の手順に従います。
 - ① **メモ:** システム ボードには、PC のサービス タグが保存されています。システム ボードを取り付けた後、BIOS セットアッププログラムでこのサービス タグを入力する必要があります。
 - ① **メモ:** システム ボードを取り付けると、BIOS セットアッププログラムで行った BIOS への変更はすべて削除されます。システム ボードを取り付けた後に、再度適切な変更を行う必要があります。
 - ① **メモ:** システム ボードからケーブルを外す前に、各コネクタの位置をメモしておき、システム ボードの取り付け後に正しく元の場所に戻すことができるようにしてください。
2. ベース カバーを取り外します。
3. 4セルバッテリーまたは3セルバッテリーを取り外します。

4. ファンを取り外します。
5. ヒート シンクを取り外します。
6. ソリッドステートドライブを取り外します
7. ディスプレイ アセンブリを取り外します。

このタスクについて

次の画像はシステム ボードの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. ラッチを開いて、指紋認証リーダー ケーブル、I/O ボード ケーブル、タッチパッド ケーブル、キーボード ケーブル、キーボードバックライト ケーブルをシステム ボードから外します。
2. スピーカー ケーブルをシステム ボードから外します。
3. コイン型電池ケーブルをシステム ボードから外します。
4. システム ボードを持ち上げてパームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

システム ボードの取り付け

前提条件

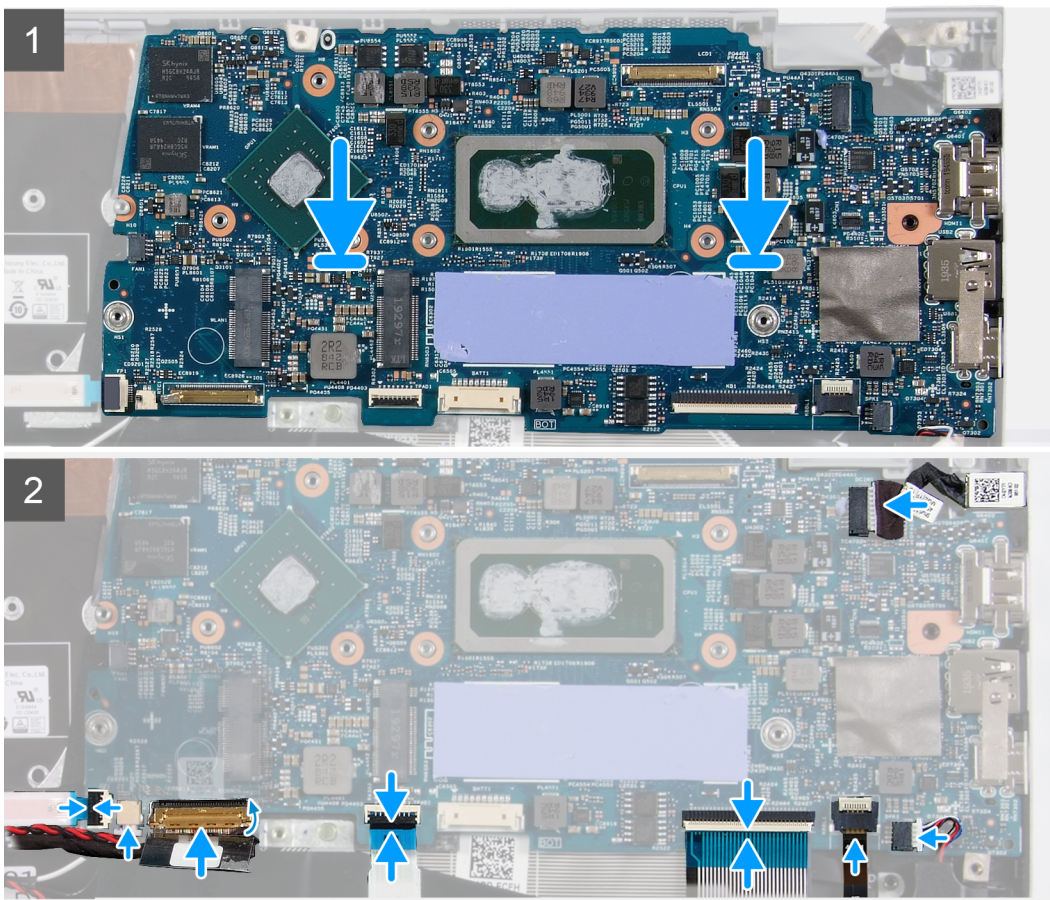
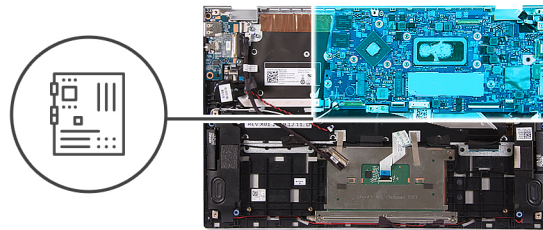
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

① **メモ:** システム ボードには、PC のサービス タグが保存されています。システム ボードを取り付けた後、BIOS セットアッププログラムでこのサービス タグを入力する必要があります。

① **メモ:** システム ボードを取り付けると、BIOS セットアッププログラムで行った BIOS への変更はすべて削除されます。システム ボードを取り付けた後に、再度適切な変更を行う必要があります。

このタスクについて

次の画像は、システム ボードの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. システム ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに合わせます。
2. 左右のスピーカー ケーブルをシステム ボードのそれぞれのコネクタに接続します。
3. コイン型電池ケーブルをシステム ボードのコネクタに接続します。
4. 指紋認証リーダー ケーブル、I/O ボード ケーブル、タッチパッド ケーブル、キーボード ケーブル、キーボードバックライト ケーブルをそれぞれのコネクタに接続し、ラッチを閉じてケーブルをシステム ボードのコネクタに固定します。

次の手順

1. ディスプレイ アセンブリーを取り付けます。
2. ソリッドステートドライブを取り付けます。
3. ヒートシンクを取り付けます。

4. ファンを取り付けます。
5. 4セルバッテリーまたは3セルバッテリーを取り付けます。
6. ベースカバーを取り付けます。
7. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

電源ボタン

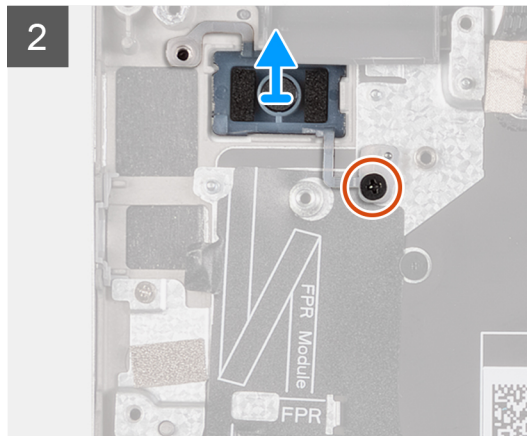
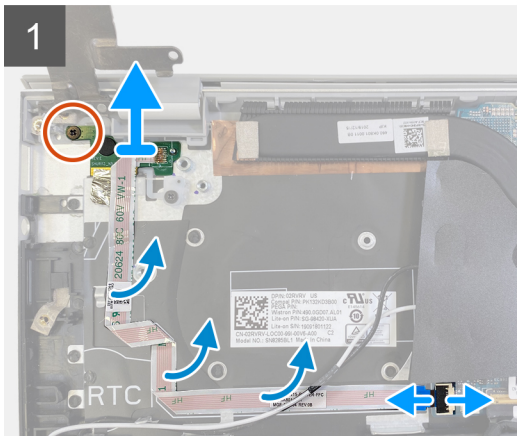
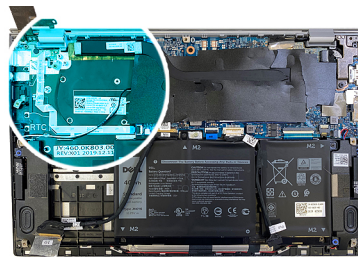
電源ボタンの取り外し

前提条件

1. 「PC内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。
3. 4セルバッテリーまたは3セルバッテリーを取り外します。
4. スピーカーを取り外します。
5. システムボードを取り外します。
 ⓘ **メモ:** システムボードは、取り付けられているヒートシンクと一緒に取り外すことができます。
6. ディスプレイアセンブリを取り外します。
7. 電源アダプターポートを取り外します。

このタスクについて

次の画像は電源ボタンの位置を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

1. 電源ボタンボードをパームレストとキーボードアセンブリに固定しているネジ（M2x3）を外します。
2. ラッチを開いて、電源ボタンケーブルをシステムボードから外します。
3. 電源ボタンケーブルをパームレストとキーボードアセンブリからはがします。
4. 電源ボタンボードをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリから取り外します。
5. 電源ボタンをパームレストとキーボードアセンブリに固定しているネジ（M2x3）を外します。
6. 電源ボタンを持ち上げてパームレストとキーボードアセンブリから取り外します。

電源ボタンの取り付け

前提条件

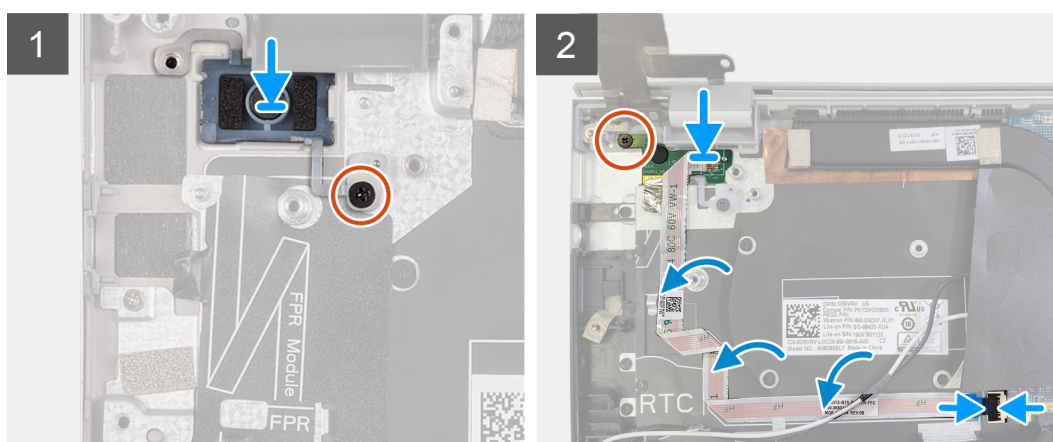
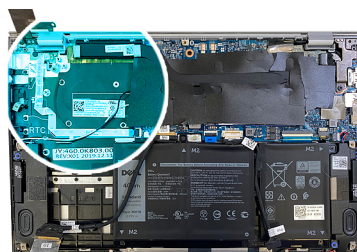
コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の画像は電源ボタンの位置を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



2x
M2x3



手順

1. 位置合わせポストを使用して、電源ボタンをパームレストとキーボードアセンブリーのスロットにセットします。
2. 電源ボタンをパームレストとキーボードアセンブリーに固定するネジ（M2x3）を取り付けます。
3. 電源ボタンボードのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
4. 電源ボタンボードをパームレストとキーボードアセンブリーに固定するネジ（M2x3）を取り付けます。
5. 電源ボタンボードケーブルをシステムボードのコネクタに接続し、ラッチを閉じます。
6. 電源ボタンボードケーブルをパームレストとキーボードアセンブリーに取り付けます。

次の手順

1. 電源アダプターポートを取り付けます。
2. ディスプレイアセンブリーを取り付けます。
3. システムボードを取り付けます。
4. スピーカーを取り付けます。
5. 4セルバッテリーまたは3セルバッテリーを取り付けます。
6. ベースカバーを取り付けます。
7. 「PC内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し

前提条件

1. 「PC内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. ベースカバーを取り外します。

3. 4セルバッテリーまたは3セルバッテリーを取り外します。
4. スピーカーを取り外します。
5. システムボードを取り外します。
① | メモ: システムボードは、取り付けられているヒートシンクと一緒に取り外すことができます。
6. ディスプレイアセンブリを取り外します。
7. 電源アダプターポートを取り外します。

このタスクについて

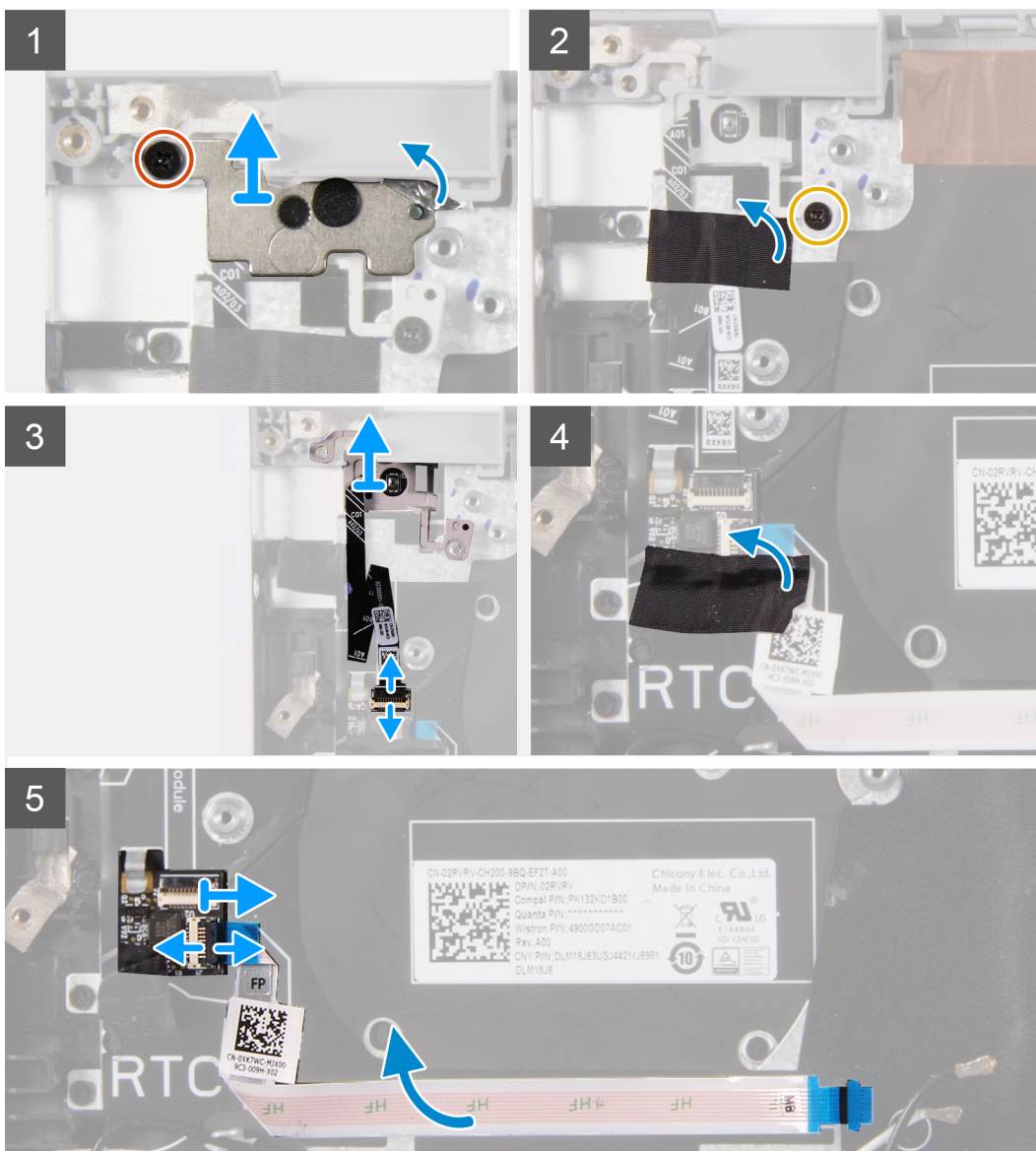
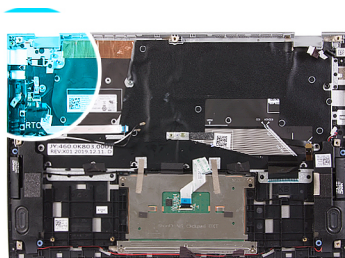
次の図は、指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



1x
M2x3



1x
M2x5



手順

1. 電源ボタン シールドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているネジ (M2x3) を外します。
2. 電源ボタン シールドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているマイラー テープをはがします。
3. 電源ボタン シールドを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。
4. 電源ボタン ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているテープをはがします。
5. 電源ボタンをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているネジ (M2x5) を外します。
6. ラッチを開いて、電源ボタン ケーブルを電源ボタン ボードから外します。
7. 電源ボタンをケーブルと一緒に持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。
8. 指紋認証リーダー ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーに固定しているテープをはがします。
9. ラッチを開いて、指紋認証リーダー ケーブルを電源ボタン ボードから外します。
10. 指紋認証リーダー ケーブルをパームレストとキーボード アセンブリーからはがします。
11. 指紋認証リーダー ケーブルと電源ボタン ボードを、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

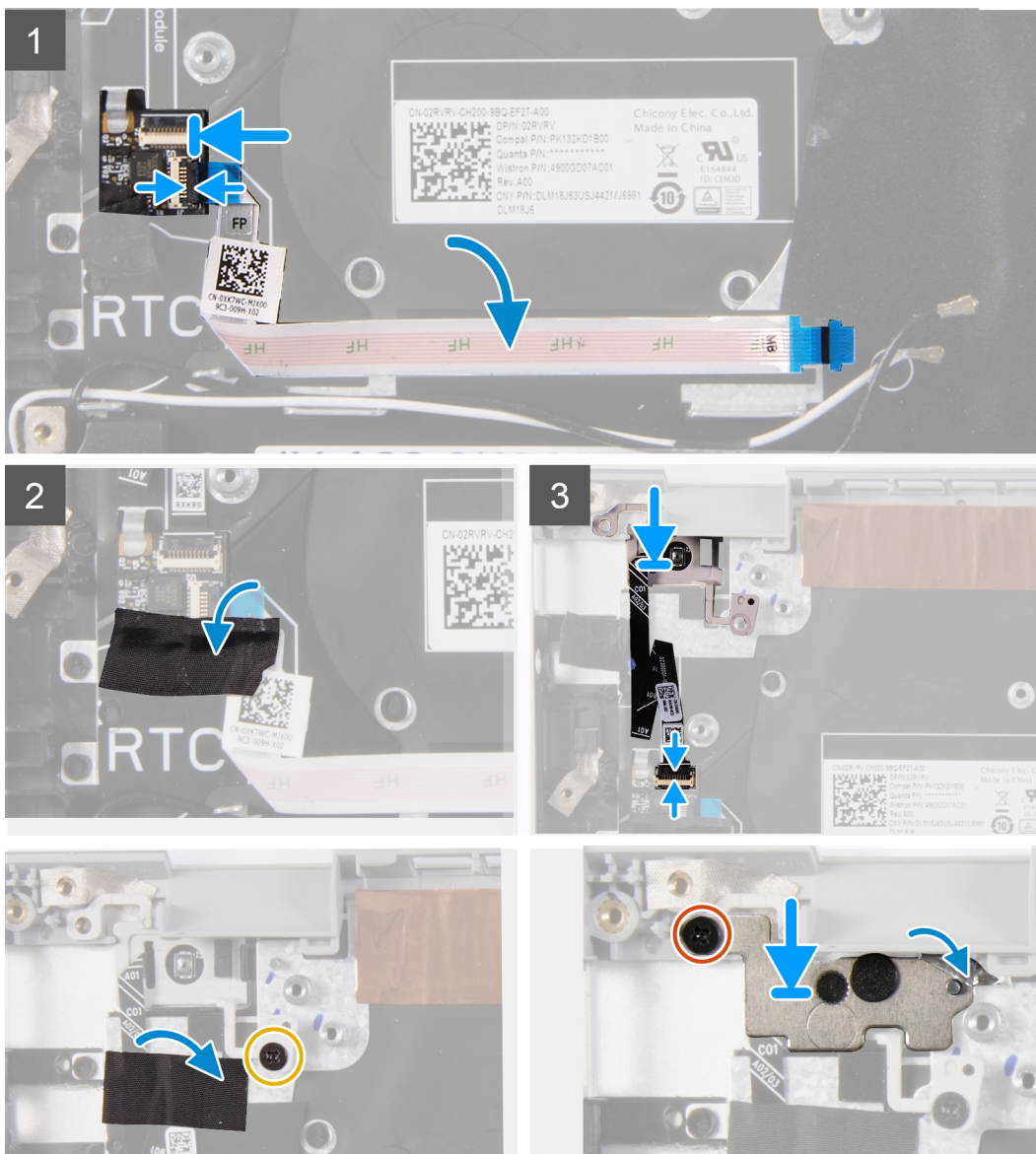
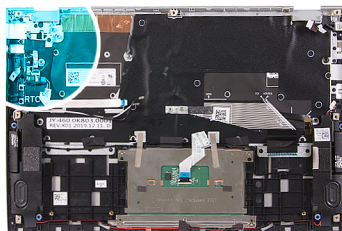
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

1. 電源ボタン ボードをパームレストとキーボードアセンブリーのスロットに合わせます。
2. 指紋認証リーダー ケーブルを電源ボタン ボードに接続し、ラッチを閉じます。
3. 指紋認証リーダー ケーブルをパームレストとキーボードアセンブリーに貼り付けます。
4. 指紋認証リーダー ケーブルをパームレストとキーボードアセンブリーに固定するテープを貼り付けます。
5. 電源ボタンをパームレストとキーボードアセンブリーのスロットに合わせます。
6. 電源ボタン ケーブルを電源ボタン ボードに接続し、ラッチを閉じます。
7. 電源ボタン ケーブルをパームレストとキーボードアセンブリーに固定するテープを貼り付けます。
8. 電源ボタンをパームレストとキーボードアセンブリーに固定するネジ (M2x5) を取り付けます。
9. 電源ボタン シールドをパームレストとキーボードアセンブリーのスロットに合わせます。

10. 電源ボタン シールドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するネジ (M2x3) を取り付けます。
11. 電源ボタン シールドをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するマイラー テープを貼り付けます。

次の手順

1. 電源アダプター ポートを取り付けます。
2. ディスプレイ アセンブリーを取り付けます。
3. システム ボードを取り付けます。
4. スピーカーを取り付けます。
5. 4セル バッテリーまたは3セル バッテリーを取り付けます。
6. ベース カバーを取り付けます。
7. 「PC 内部の作業を終えた後に」 の手順に従います。

パームレストとキーボードアセンブリ

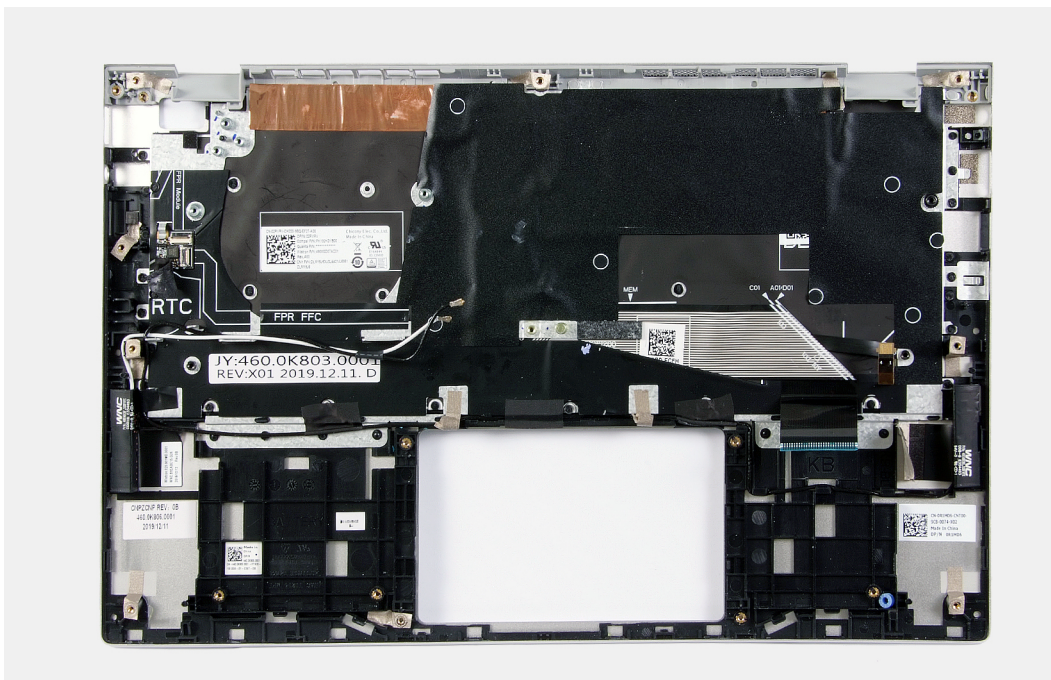
パームレストとキーボード アセンブリーの取り外し

前提条件

1. 「PC 内部の作業を始める前に」 の手順に従います。
2. ベース カバーを取り外します。
3. 4セル バッテリーまたは3セル バッテリーを取り外します。
4. スピーカーを取り外します。
5. システム ボードを取り外します。
① **メモ:** システム ボードは、取り付けられているヒート シンクと一緒に取り外すことができます。
6. ディスプレイ アセンブリーを取り外します。
7. 電源アダプターポートを取り外します。
8. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンまたは電源ボタンを取り外します。
9. タッチパッドを取り外します。

このタスクについて

次の図は、パームレストとキーボード アセンブリーの場所を示すもので、取り外し手順を視覚的に表しています。



手順

「前提条件」の手順を実行すると、パームレストとキーボード アセンブリーが残ります。

① **メモ:** システム ボードは、ヒートシンクが装着された状態でも取り外すことができます。

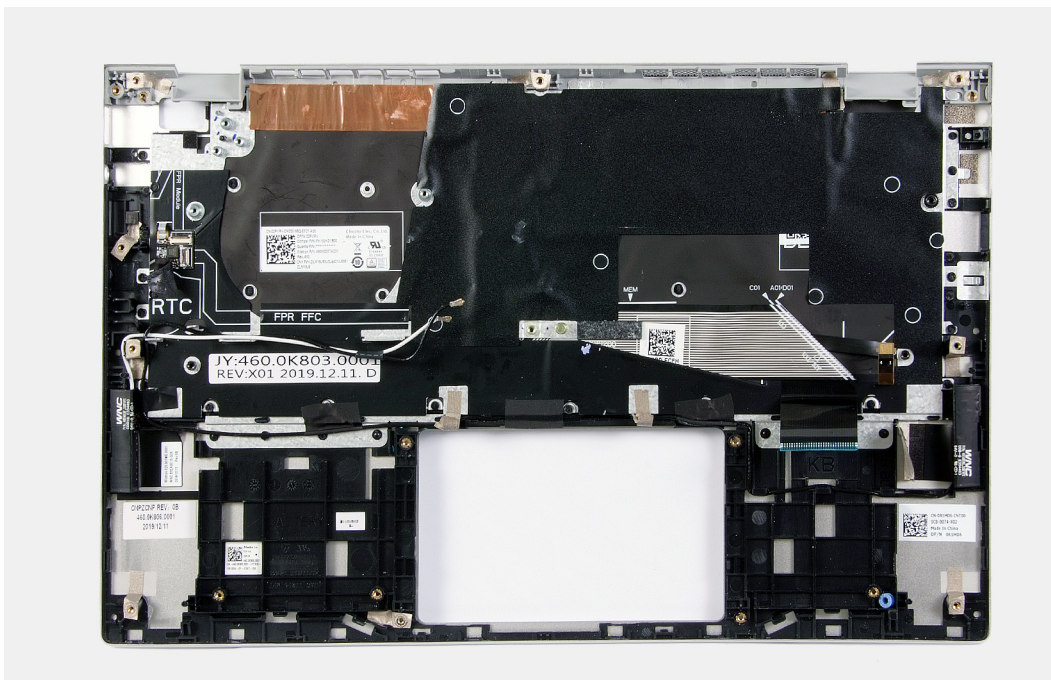
パームレストとキーボード アセンブリーの取り付け

前提条件

コンポーネントを交換する場合、取り付け手順を実行する前に、既存のコンポーネントを取り外してください。

このタスクについて

次の図は、パームレストとキーボード アセンブリーの場所を示すもので、取り付け手順を視覚的に表しています。



手順

パームレストとキーボード アセンブリーを平らな面に置きます。

次の手順

1. タッチパッドを取り付けます。
2. 電源アダプター ポートを取り付けます。
3. 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンまたは電源ボタンを取り付けます。
4. ディスプレイ アセンブリーを取り付けます。
5. システム ボードを取り付けます。
6. スピーカーを取り付けます。
7. 4セルバッテリーまたは3セルバッテリーを取り付けます。
8. ベース カバーを取り付けます。
9. 「PC 内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ドライバおよびダウンロード

ドライバのトラブルシューティング、ダウンロードまたはインストールを行うときには、Dell ナレッジベースの記事「ドライバおよびダウンロードに関するよくあるお問い合わせ」([SLN128938](#))を読むことが推奨されます。

システム セットアップ

△注意: PC に詳しいユーザー以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更で PC が誤作動を起こす可能性があります。

①メモ: PC および取り付けられているデバイスによっては、本項にリスト表示されている項目の一部がない場合があります。

①メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用します。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、PC に取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

BIOS セットアッププログラムの起動

手順

1. PC の電源をオンにします。
2. 直ちに F2 を押して、BIOS セットアップ プログラムを入力します。

①メモ: キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティング システムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。その後、PC の電源を切り、操作をやり直してください。

ナビゲーションキー

①メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 3. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。 ①メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
Esc	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ワンタイムブートメニュー

[ワンタイムブートメニュー]を入力するには、PCの電源を入れて、すぐにF2を押します。

メモ: PCがオンになっている場合は、シャットダウンすることをお勧めします。

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ (利用可能な場合)
- **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハードドライブ (利用可能な場合)
- 診断

メモ: [診断]を選択すると [SupportAssist 診断] 画面が表示されます。

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

メモ: コンピューターおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目の一部がない場合があります。

表 4. セットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー

概要	
BIOS Version	BIOS のバージョン番号を表示します。
Service Tag	コンピュータのサービスタグを表示します
Asset Tag	コンピュータのアセットタグを表示します。
Ownership Tag	コンピュータの所有者タグを表示します。
Manufacture Date	コンピュータの製造日を表示します。
Ownership Date	コンピュータの購入日を表示します。
Express Service Code	コンピュータのエクスプレスサービスコードを表示します。
Ownership Tag	コンピュータの所有者タグを表示します。
署名付きファームウェア アップデート	署名付きファームウェア アップデートが有効かどうかが表示されます。
[バッテリー]	バッテリーの状態を表示します。
プライマリ (システム) パスワード	プライマリ バッテリーが表示されます。
バッテリー レベル	バッテリー レベルが表示されます。
バッテリー状況	バッテリー状況が表示されます。
正常性	バッテリーの状態を表示します。
AC アダプタ	AC アダプタが取り付けられているかが表示されます。
[プロセッサ情報]	
Processor Type	プロセッサの種類を表示します。
Maximum Clock Speed	プロセッサの最高クロック速度を表示します。
Core Count	プロセッサのコアの数を表示します。
Processor L2 Cache	プロセッサの L2 キャッシュサイズを表示します。
Processor ID	プロセッサの識別コードを表示します。

表 4. セットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー (続き)

概要	
Processor L3 Cache	プロセッサの L3 キャッシュサイズを表示します。
Current Clock Speed	プロセッサの現在のクロック速度を表示します。
Minimum Clock Speed	プロセッサの最低クロック速度を表示します。
マイクロコードのバージョン	マイクロコードバージョンを表示します。
インテル ハイパースレディング対応	プロセッサがハイパースレディング (HT) に対応しているかどうかを表示します。
64-Bit Technology	64 ビットテクノロジーが使用されているかどうかを表示します。
[メモリ情報]	
Memory Installed	インストールされているコンピュータメモリの合計を表示します。
Memory Available	使用可能なコンピュータメモリの合計を表示します。
Memory Speed	メモリ速度を表示します。
Memory Channel Mode	シングルまたはデュアルチャネルモードを表示します。
Memory Technology	メモリに使用されているテクノロジーを表示します。
[デバイス情報]	
Video Controller	コンピュータの内蔵グラフィックスの情報を表示します。
dGPU Video Controller	コンピュータの外付けグラフィックスの情報を表示します。
Video BIOS Version	コンピュータのビデオ BIOS のバージョンを表示します。
Video Memory	コンピュータのビデオメモリ情報を表示します。
Panel Type	コンピュータのパネルのタイプを表示します。
Native Resolution	コンピュータのネイティブ解像度を表示します。
Audio Controller	コンピュータのオーディオコントローラ情報を表示します。
Wi-Fi Device	コンピュータのワイヤレスデバイスの情報を表示します。
Bluetooth Device	コンピュータの Bluetooth デバイス情報を表示します。

表 5. システム セットアップ オプション — 起動オプションメニュー

起動オプション	
[詳細起動オプション]	
Enable UEFI Network Stack	UEFI ネットワーク スタックを有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
[Boot Mode (起動モード)]	
Boot Mode: UEFI only	このコンピュータの起動モードを表示します。
Enable Boot Devices	このコンピュータの起動デバイスを有効または無効にします。
Boot Sequence	起動順序を表示します。
[BIOS Setup Advanced Mode]	
	BIOS の詳細設定を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[UEFI Boot Path Security]	
	F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動するときに、ユーザーに管理者パスワードの入力を求めるプロンプトを有効または無効にします。 デフォルト : Always Except Internal HDD

表 6. セットアップユーティリティのオプション — システム設定メニュー

システム設定	
[Date/Time]	
日付	コンピューターの日付を MM/DD/YYYY 形式で設定します。日付の変更はすぐに反映されます。
時刻	コンピューターの時間を HH/MM/SS の 24 時間形式で設定します。12 時間クロックと 24 時間クロックを切り替えることができます。時間の変更はすぐに反映されます。
[Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)]	コンピューターの起動中にハードドライブのエラーを報告する SMART (自己監視、解析、およびレポート作成テクノロジー) を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
[Enable Audio (オーディオを有効にする)]	すべての内蔵オーディオコントローラを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[Enable Microphone(マイクを有効にする)]	マイクを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[Enable Internal Speaker(内蔵スピーカーを有効にする)]	内蔵スピーカーを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[USB 設定]	
Enable Boot Support	外付ハードドライブ、オプティカルドライブ、USB ドライブのような USB 大容量ストレージデバイスからの起動を有効または無効にします。
Enable External USB Ports (外付け USB ポートを有効にする)	オペレーティングシステム環境で機能する USB ポートを有効または無効にします。
[SATA Operation]	内蔵 SATA ハードドライブコントローラの動作モードを設定します。 デフォルト : RAID。SATA は RAID (インテル Rapid Restore テクノロジー) をサポートするように設定されています。
[Drives]	各種オンボードドライブを有効または無効にします。
M.2 PCIe SSD-0/SATA-2	デフォルト : ON (オン)
SATA-0	デフォルト : ON (オン)
ドライブ情報	各種オンボードドライブの情報を表示します。
[Miscellaneous Devices]	各種オンボードデバイスを有効または無効にします。
Enable Camera	カメラを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
Keyboard Illumination	キーボードライト機能の動作モードを設定します。 デフォルト : Disabled (無効) キーボードライトは常に消灯します。
Keyboard Backlight Timeout on AC (AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)	AC アダプタがコンピューターに接続されているときに、キーボードのタイムアウト値を設定します。キーボードバックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効化されている場合にのみ有効です。 デフォルト : 10 秒。
Keyboard Backlight Timeout on Battery(バッテリでのキーボードバックライトのタイムアウト)	コンピューターがバッテリで動作しているときに、キーボードのタイムアウト値を設定します。キーボードバックライトのタイムアウト値は、バックライトが有効化されている場合にのみ有効です。 デフォルト : 10 秒。
タッチスクリーン	オペレーティングシステムのタッチスクリーンを有効または無効にします。 ① メモ: タッチスクリーンは、この設定に関係なく、BIOS セットアップで常に動作します。

表 6. セットアップユーティリティのオプション — システム設定メニュー (続き)

システム設定	
デフォルト : ON (オン)	

表 7. セットアップユーティリティのオプション — ビデオメニュー

ビデオ	
[LCD Brightness]	
Brightness on battery power	コンピューターがバッテリー電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。
Brightness on AC power	コンピューターが AC 電源で動作しているときに、画面の輝度を設定します。
[EcoPower]	必要に応じて画面の輝度を下げることにより、バッテリーの寿命を延ばす EcoPower を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)

表 8. セットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー

セキュリティ	
Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする)	管理者パスワードが設定されている場合に、ユーザーによる BIOS セットアップの起動を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
Password Bypass	システムの再起動中に、システム (起動) パスワードと内蔵ハードドライブパスワード入力のプロンプトをスキップすることができます。 デフォルト : Disabled (無効)
Enable Non-Admin Password Changes	管理者パスワードの必要なしで、ユーザーによるシステムパスワードとハードドライブパスワードの変更を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
[Non-Admin Setup Changes]	
Allow Wireless Switch Changes	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップ オプションへの変更を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
Enable UEFI Capsule Firmware Updates	UEFI カプセル アップデート パッケージで BIOS アップデートを有効または無効にします。
[Computrace]	オプションの Absolute Software 社製 Computrace(R) Service の BIOS モジュール インタフェースを有効または無効にします。
[Intel Platform Trust Technology On]	オペレーティングシステムへの Platform Trust Technology (PTT) の可視性を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
PPI Bypass for Clear Commands	クリア コマンドの発行時に、オペレーティングシステムによる BIOS 物理プレゼンス インターフェイス (PPI) ユーザー プロンプトのスキップを有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
Clear (クリア)	コンピューターによる PTT 所有者情報のクリアを有効または無効にし、PTT をデフォルトの状態に戻します。 デフォルト : OFF (オフ)
[Intel SGX]	インテル Software Guard Extensions (SGX) によるコードの実行/機密情報の保存のための安全な環境の提供を有効または無効にします。 デフォルト : Software Control

表 8. セットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー (続き)

セキュリティ	
[SMM Security Mitigation]	追加の UEFI SMM セキュリティ緩和の保護を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ) ①メモ: この機能により、一部のレガシー ツールやアプリケーションで互換性の問題または機能の損失が発生する可能性があります。
Enable Strong Passwords	強力なパスワードを有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
[Password Configuration]	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数を設定します。
[Admin Password]	管理者 (admin) パスワード (「セットアップ」 パスワードと呼ばれる場合もある) を設定、変更、または削除します。
[System Password]	システムパスワードを設定、変更、または削除します。
Enable Master Password Lockout	マスターパスワードサポートを有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)

表 9. セットアップユーティリティのオプション — 安全起動メニュー

安全起動	
Enable Secure Boot	検証済みの起動ソフトウェアのみを使用したコンピューターの起動を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ) ①メモ: [セキュア ブート] を有効にする必要があるコンピューターは、UEFI 起動モードである必要があり、[レガシー オプション ROM を有効にする] オプションをオフにする必要があります。
Secure Boot Mode	[セキュア ブート] 動作モードを選択します。 デフォルト : Deployed Mode。 ①メモ: [セキュア ブート] の通常の動作を行うには、[デプロイド モード] を選択する必要があります。

表 10. システム セットアップ オプション — エキスパート キー管理メニュー

エキスパートキー管理	
カスタムモードを有効にする	変更する PK、KEK、db、dbx のセキュリティ キー データベースのキーを有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
Custom Mode Key Management	エキスパート キー管理用にカスタム値を選択します。 デフォルト : PK。

表 11. システム セットアップ オプション — パフォーマンス メニュー

パフォーマンス	
Intel Hyper-Threading Technology	インテル Hyper-Threading テクノロジーによるプロセッサ リソースのより効率的な使用を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
Intel SpeedStep	インテル SpeedStep テクノロジーがプロセッサの電圧とコア周波数を動的に調整し、平均電力消費量と発熱量を削減する機能を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)

表 11. システム セットアップ オプション — パフォーマンス メニュー (続き)

パフォーマンス

Intel TurboBoost Technology	プロセッサのインテル TurboBoost モードを有効または無効にします。有効な場合、インテル TurboBoost ドライバは、CPU またはグラフィックス プロセッサのパフォーマンスを向上させます。 デフォルト : ON (オン)
Multi-Core Support	オペレーティング システムで使用可能な CPU コアの数を変更します。デフォルト値は、コアの最大数に設定されています。 デフォルト : All Cores。
Enable C-State Control	低電力状態を開始して終了する CPU の機能を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)

表 12. セットアップユーティリティのオプション — 電源管理メニュー

電源管理

Wake on AC (ウェイクオン AC)	コンピューターに AC 電源が供給されている場合に、コンピューターの電源をオンにして起動できるようにします。 デフォルト : OFF (オフ)
Auto on Time	指定された日付と時刻にコンピューターの電源を自動的にオンにすることができます。 デフォルト : Disabled (無効) システムは自動的に電源オンになりません。
バッテリーの充電設定	電力使用時間中に、バッテリーでコンピューターを動作させることができます。以下のオプションを使用して、各日の特定の時間帯での AC 電源の使用を防止します。 デフォルト : Adaptive (適応) バッテリーの設定は、標準のバッテリー使用パターンに基づいて、順応的に最適化されます。
Enable Advanced Battery Charge Configuration	その日の始まりから指定した作業時間までの高度なバッテリー充電設定を有効にします。高度なバッテリー充電では、日中の頻繁な使用をサポートしつつバッテリーの正常性を最大限にします。 デフォルト : OFF (オフ)
Block Sleep	コンピューターがオペレーティング システムでスリープ (S3) モードに入るのをブロックします。 デフォルト : OFF (オフ) メモ: 有効にした場合、コンピューターはスリープにはならず、インテル Rapid Start は自動的に無効になり、オペレーティング システムの電源オプションは、スリープに設定されていた場合は空白になります。
Enable USB Wake Support(USB ウェイクサポートを有効にする)	USB デバイスでコンピューターをスタンバイ モードからウェイクできるようにします。 デフォルト : OFF (オフ)
Enable Intel Speed Shift Technology	オペレーティング システムが適切なプロセッサ パフォーマンスを自動的に選択できるようにするインテル Speed Shift テクノロジー サポートを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
Lid Switch	蓋を開けるたびに、コンピューターの電源をオフ状態からオンにすることができます。 デフォルト : ON (オン)

表 13. セットアップユーティリティのオプション — ワイヤレスメニュー

ワイヤレス	
[Wireless Switch]	ワイヤレス スイッチでどのワイヤレス デバイスを制御できるかを決定します。Windows 8 システムの場合、これはオペレーティング システム ドライブに直接制御されます。したがって、この設定はワイヤレス スイッチの動作には影響しません。 ① メモ: WLAN と WiGig の両方が存在する場合、有効化/無効化の制御は連動しています。したがって、個別に有効または無効にすることはできません。
WLAN	デフォルト : ON (オン)
Bluetooth	デフォルト : ON (オン)
[Wireless Device Enable]	内蔵 WLAN/Bluetooth デバイスを有効または無効にします。
WLAN	デフォルト : ON (オン)
Bluetooth	デフォルト : ON (オン)

表 14. セットアップユーティリティのオプション — POST 動作メニュー

POST 動作	
Numlock Enable	コンピューターの起動時に Numlock を有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
Enable Adapter Warnings (アダプタの警告を有効にする)	起動中にコンピューターにアダプタ警告メッセージを表示させることができません。 デフォルト : ON (オン)
Extend BIOS POST Time	BIOS POST (電源投入時の自己テスト) のロード時間を設定します。 デフォルト : 0 秒。
Fastboot	UEFI 起動プロセスの速度を設定します。 デフォルト : Thorough (完全) 起動中にハードウェアおよび設定の完全な初期化を行います。
Fn Lock Options	Fn Lock モードを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)
Lock Mode	デフォルト : Lock Mode Secondary。[ロック モード セカンダリ] = このオプションが選択されている場合は、F1~F12 キーを使用して、セカンダリ機能のコードをスキャンします。
Pull Screen Logo	イメージが画面の解像度に一致する場合、コンピューターが全画面のロゴを表示する機能を有効または無効にします。 デフォルト : OFF (オフ)
Warnings and Errors	起動中に警告またはエラーが発生した場合の処置を選択します。 デフォルト : Prompt on Warnings and Errors。警告またはエラーが検出された場合に停止し、プロンプトを表示してユーザーの入力を待ちます。 ① メモ: コンピューター ハードウェアの動作にとって重要であると判断されたエラーは、常にコンピューターを停止します。

表 15. システム セットアップ オプション — 仮想化メニュー

仮想化	
Intel Virtualization Technology	コンピューターが仮想マシン モニタ (VMM) を実行できるようにします。 デフォルト : ON (オン)

表 15. システム セットアップ オプション — 仮想化メニュー (続き)

仮想化	
VT for Direct I/O	<p>コンピューターがダイレクト I/O の仮想化テクノロジー (VT-d) を実行できるようにします。VT-d は、メモリ マップ I/O の仮想化を実現するインテルの方法です。</p> <p>デフォルト : ON (オン)</p>

表 16. セットアップユーティリティのオプション — メンテナンスメニュー

メンテナンス	
Asset Tag	IT 管理者が使用できるシステム資産タグを作成し、特定のシステムを一意に識別します。BIOS で設定が完了すると、資産タグを変更することはできません。
Service Tag	コンピューターのサービスタグを表示します
BIOS Recovery from Hard Drive	<p>起動ブロック部分が損傷を受けておらず、機能している限り、コンピューターが不良な BIOS のイメージから回復できるようにします。</p> <p>デフォルト : ON (オン)</p> <p>i メモ: BIOS リカバリは、主要な BIOS ブロックを修正するように設計されており、起動ブロックが破損している場合は機能しません。さらに、この機能は、EC の破損、ME の破損、またはハードウェアの問題が発生した場合には機能しません。リカバリ イメージは、ドライブ上の暗号化されていないパーティションに存在している必要があります。</p>
BIOS Auto-Recovery	<p>コンピューターがユーザーの操作なしで自動的に BIOS をリカバリできるようにします。この機能を使用するには、ハード ドライブからの BIOS リカバリが有効に設定されている必要があります。</p> <p>デフォルト : OFF (オフ)</p>
Start Data Wipe	<p>△ 注意: このセキュア ワイプ操作は、再構築できない方法で情報を削除します。</p> <p>有効な場合、BIOS は、次回の再起動時に、マザーボードに接続されているストレージ デバイスのデータ消去サイクルをキューイングします。</p> <p>デフォルト : OFF (オフ)</p>
Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する)	<p>システム ファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。</p> <p>デフォルト : ON (オン)</p>

表 17. セットアップユーティリティのオプション — システムログメニュー

システムログ	
Power Event Log	<p>電源イベントを表示します。</p> <p>デフォルト : Keep。</p>
BIOS Event Log	<p>BIOS イベントを表示します。</p> <p>デフォルト : Keep。</p>
Thermal Event Log	<p>サーマル イベントを表示します。</p> <p>デフォルト : Keep。</p>

表 18. システム セットアップ オプション — SupportAssist メニュー

SupportAssist	
Dell Auto operating system Recovery Threshold	<p>SupportAssist システム解決策コンソールや Dell オペレーティング システム リカバリ ツールの自動起動フローを制御します。</p> <p>デフォルト : 2</p>

表 18. システム セットアップ オプション — SupportAssist メニュー (続き)

SupportAssist	
SupportAssist operating system Recovery	特定のシステム エラーの発生時に、SupportAssist オペレーティング システム リカバリ ツールの起動フローを有効または無効にします。 デフォルト : ON (オン)

Windows での BIOS のアップデート

前提条件

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (セットアップ ユーティリティ) をアップデートすることをお勧めします。

このタスクについて

メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

手順

1. PC を再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - [サービス タグ] や [エクスプレス サービス コード] を入力し、[送信] をクリックします。
 - [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから [Products] カテゴリを選択します。

メモ: 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の [製品サポート] ページが表示されます。
6. [Get drivers] をクリックし、[Drivers and Downloads] をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、[Download] をクリックします。
10. [Please select your download method below] ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、[ファイルのダウンロード] をクリックします。
[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、[保存] をクリックします。
12. [実行] をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

このタスクについて

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブータブル USB フラッシュ ドライブに保存します。

メモ: ブータブル USB フラッシュ ドライブを使用する必要があります。詳細については、次の記事を参照してください。
<https://www.dell.com/support/article/sln143196/>

手順

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブータブル USB フラッシュ ドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュ ドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ログが表示されたら F12 を押して、ワン タイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、[USB ストレージ デバイス] を選択し、[Return] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [Return] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデート ユーティリティーがロードされます。画面の手順に従います。

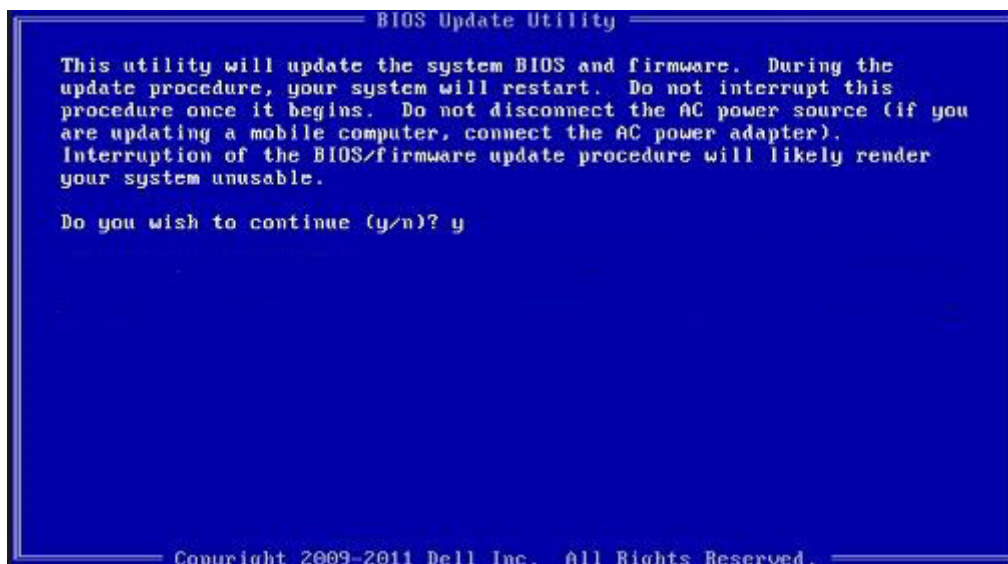


図 1. DOS の BIOS アップデート画面

Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、<https://www.dell.com/support/article/sln171755/>を参照してください。

F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ

FAT32 USB キーにコピーされた BIOS アップデート.exe ファイルを使用したシステム BIOS のアップデートと、F12 ワンタイム ブート メニューからのブート。

このタスクについて

BIOS のアップデート

ブータブル USB キーを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、システムの F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製システムにはこの機能があり、システムを F12 ワンタイム ブート メニューで起動することにより、システムのブート オプションとして [BIOS フラッシュ アップデート] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

メモ: F12 ワンタイム ブート メニューに [BIOS フラッシュ アップデート] オプションがあるシステムのみがこの機能を使用できます。

ワンタイム ブート メニューからのアップデート

F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、以下のものがが必要です。

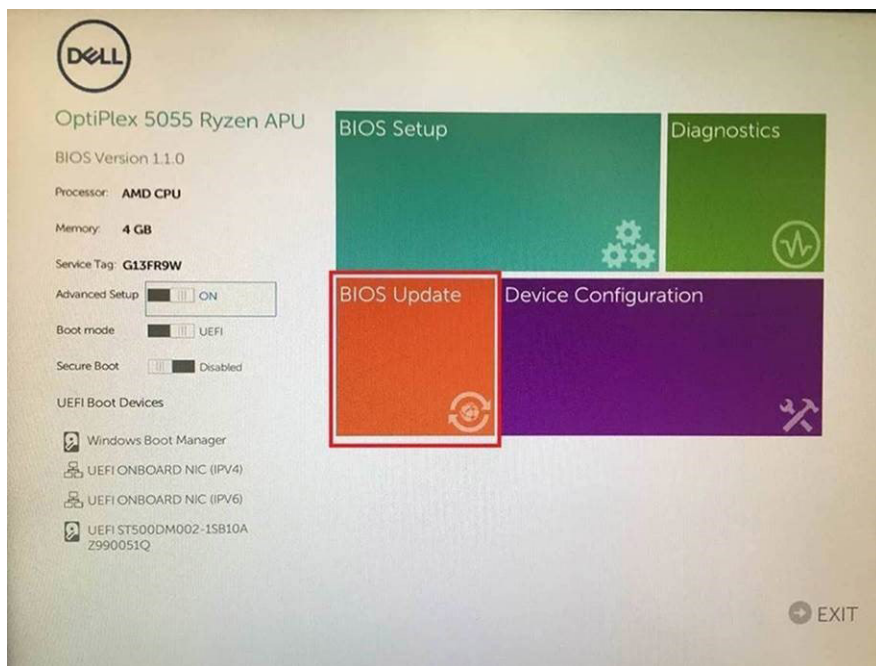
- FAT32 ファイル システムにフォーマットされた USB キー (キーはブータブルでなくてもよい)
- Dell サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB キーの root にコピーした BIOS 実行可能ファイル
- システムに接続された AC 電源アダプター
- BIOS をフラッシュする動作可能なシステム バッテリ

F12 メニューから BIOS アップデート フラッシュ プロセスを実行するには、次の手順を実行します。

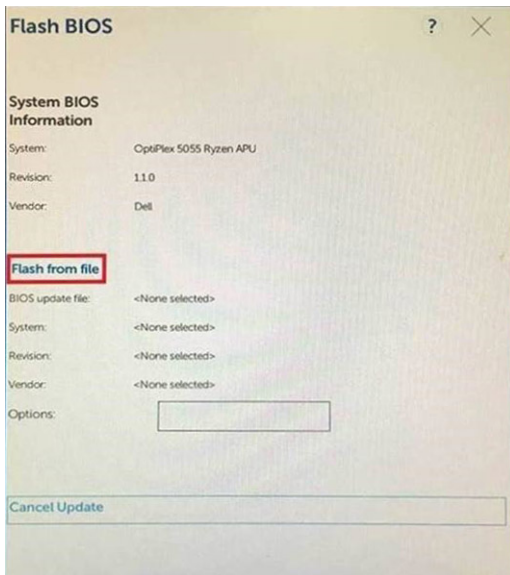
注意: BIOS のアップデート プロセス中にシステムの電源をオフにしないでください。システムの電源をオフにすると、システムが起動しない可能性があります。

手順

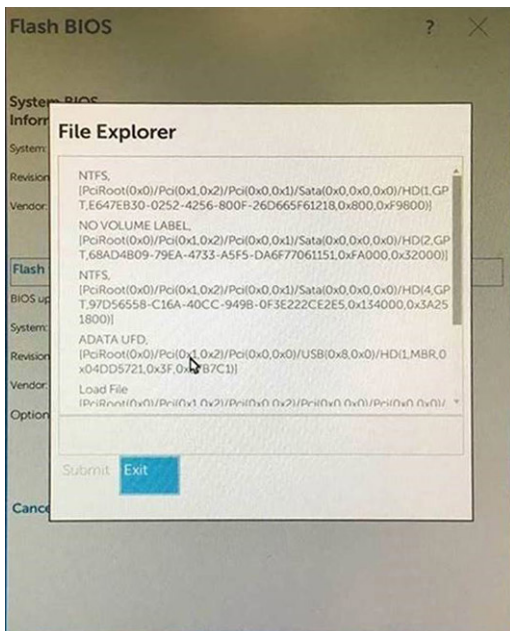
1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB キーをシステムの USB ポートに挿入します。
2. システムの電源をオンにし、F12 キーを押してワンタイム ブート メニューにアクセスし、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS アップデート] をハイライト表示し、[Enter] を押します。



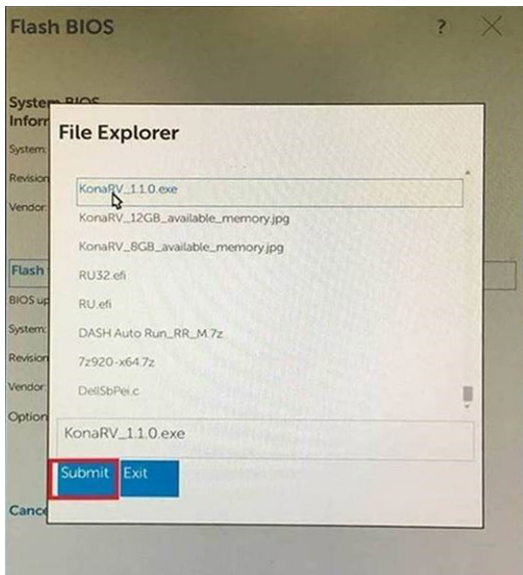
3. フラッシュ BIOS メニューが開いたら、[ファイルからフラッシュ]をクリックします。



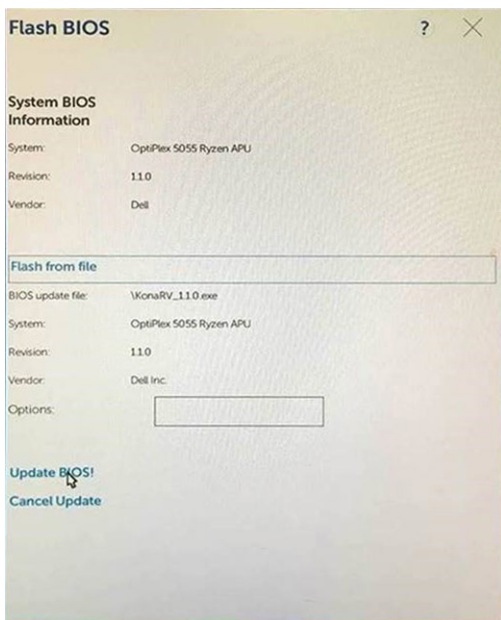
4. 外部 USB デバイスを選択します。



5. ファイルを選択したら、フラッシュターゲットファイルをダブルクリックし、[送信]を押します。



6. [BIOS をアップデートする] をクリックします。システムが再起動して BIOS をフラッシュします。



7. 完了するとシステムが再起動し、BIOS のアップデート プロセスが完了します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード


表 19. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログインする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

△ **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ **注意:** PC をロックせずに放置すると、PC 上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

前提条件

ステータスが**未設定**の場合のみ、新しい**システム パスワード**または**管理者パスワード**を割り当てることができます。

このタスクについて

システム セットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に F2F12 を押します。

手順

- [**システム BIOS**]画面または[**システム セットアップ**]画面で[**セキュリティ**]を選択し、Enter を押します。
[**セキュリティ**]画面が表示されます。
- [**システム/管理者パスワード**]を選択し、[**新しいパスワードを入力**]フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - 特殊文字は、次の文字のみが有効です：スペース、() \ (+) (,) (-) (.) (/) (;) ([) (\) (]) (`)
- 新しいパスワードの確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
- Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- Y を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更


前提条件

既存のシステム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、[**パスワード ステータス**]が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

このタスクについて

システム セットアップを入力するには、電源投入または再起動の直後に F2F12 を押します。

手順

- [**システム BIOS**]画面または[**システム セットアップ**]画面で、[**システム セキュリティ**]を選択し、Enter を押します。
System Security (システムセキュリティ) 画面が表示されます。
- システムセキュリティ**画面で**パスワードステータス**が**ロック解除**に設定されていることを確認します。
- [**システム パスワード**]を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、Enter または Tab を押します。
- [**セットアップ パスワード**]を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、Enter または Tab を押します。
 **メモ:** システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。
- Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
- Y を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動します。

CMOS 設定のクリア

このタスクについて

 **注意:** CMOS 設定をクリアすると、PC の BIOS 設定がリセットされます。


手順

1. ベース カバーを取り外します。
2. バッテリーを取り外します。
3. コイン型電池を取り外します。
4. 1分間待ちます。
5. コイン型電池を取り付けます。
6. バッテリーを取り付けます。
7. ベースカバーを取り付けます。

BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア

このタスクについて

システムまたは BIOS パスワードをクリアするには、Dell テクニカル サポート (www.dell.com/contactdell) にお問い合わせください。

 **メモ:** Windows またはアプリケーションのパスワードをリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング

Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック診断

このタスクについて

SupportAssist 診断（システム診断とも呼ばれる）ではハードウェアの完全なチェックを実行します。Dell SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェック診断は BIOS に組み込まれており、BIOS によって内部で起動します。組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスまたはデバイス グループ用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

① メモ: 特定のデバイスについては、ユーザーによる操作が必要なテストもあります。診断テストを実行する際は、コンピューター端末の前に必ずいるようにしてください。

詳細については、「[内蔵およびオンライン診断 \(SupportAssist ePSA、ePSA または PSA エラー コード \)](#) を使用してハードウェアの問題を解決する方法」を参照してください。

SupportAssist 起動前システム パフォーマンス チェックの実行

手順

1. PC の電源を入れます。
2. PC が起動し、Dell のロゴが表示されたら F12 キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、[診断] オプションを選択します。
4. 左下隅の矢印をクリックします。
診断プログラムのフロント ページが表示されます。
5. 右下隅にある矢印をクリックして、ページ リストに移動します。
検出されたアイテムが一覧表示されます。
6. 特定のデバイスで診断テストを実行するには、Esc を押して [はい] をクリックし、診断テストを中止します。
7. 左のパネルからデバイスを選択し、[テストの実行] をクリックします。
8. 何か問題がある場合は、エラー コードが表示されます。
エラー コードと検証番号をメモして、デルにお問い合わせください。

検証ツール

このセクションには、SupportAssist ePSA、ePSA、PSA エラー コードの検証方法についての情報を記載しています。

エラー コードの検証は、以下の 2 つの方法を使用して行うことができます。

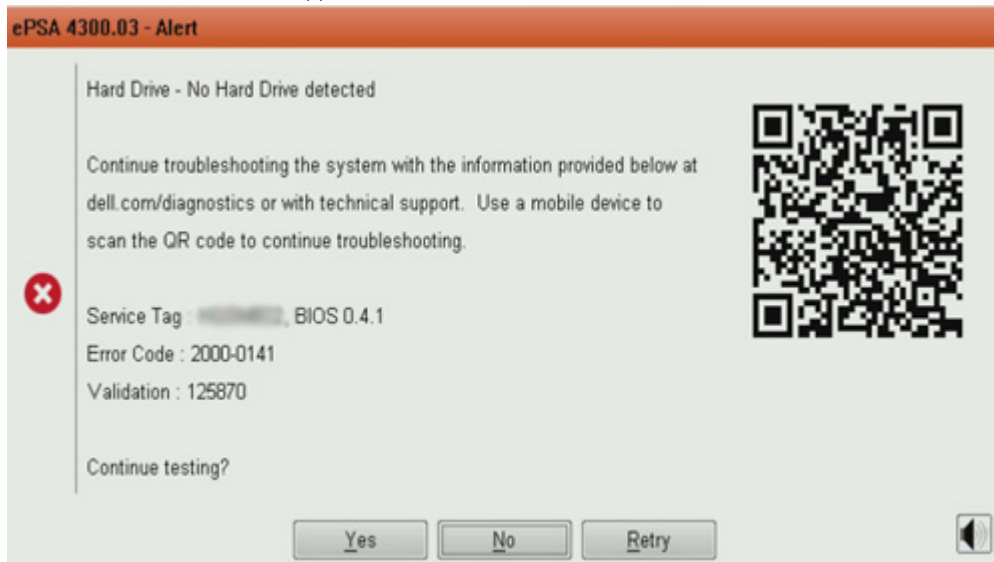
- [オンラインの高度な起動前システム評価検証ツール](#)
- [スマートフォンの QR APP を使用した QR スキャン](#)

オンライン SupportAssist オンボード診断、ePSA、または PSA エラー コード検証ツール

使用ガイド

手順

1. ユーザーは、Windows の SupportAssist エラーから情報を取得します。



2. <https://www.dell.com/support/diagnose/Pre-boot-Analysis> に移動します。
3. エラーコード、検証コード、サービス タグを入力します。部品のシリアル番号はオプションです。

Error Code (without 2000-prefix) *	<input type="text" value="Error Code (without 2000-prefix)"/>
Validation Code *	<input type="text" value="Validation Code"/>
Service Tag ⓘ *	<input type="text" value="Service Tag"/>
Part Serial # (optional)	<input type="text" value="Part Serial # (optional)"/>
<input type="button" value="Submit"/>	


[View System Requirements and Privacy And Legal Information](#)

ⓘ **メモ:** エラーコードについては、コードの最後の3桁または4桁のみを使用します。(ユーザーは2000-0142ではなく0142または142を入力します)

4. 必要な情報をすべて入力したら、[**Submit**] をクリックします。

Error Code (without 2000-prefix) *

Validation Code *


Service Tag  *

Part Serial # (optional)

[View System Requirements and Privacy And Legal Information](#)

タスクの結果

有効なエラー コードの例



19.5"

Vostro 20 All-in-One 3055
 Service Tag: [XXXXXXXXXX](#) | Express Service Code: [38627486440](#)
[Add to My Products List](#)
[View a different product](#)

Manuals
Warranty
System configuration


Diagnostics

Support topics & articles

Drivers & downloads


General maintenance

Parts & accessories

 Your system is currently Out of Warranty. Please contact Dell Technical Support for further assistance.

Result: Issues Found.

Your result requires attention. Review the affected hardware below and follow the instructions to troubleshoot problems or you may be presented with a request to replace parts. [Clear results](#)

 **Needs Attention: System maintenance** —


Needs Attention

A potential error has been found. [Click here](#) to view a list of steps that can help resolve your issue.

See full scan results.

Diagnostics Completed —

Hardware


Diagnostic Name	Error Code	Serial #	Result
EP5A	141		 Failed

正しい情報を入力すると、オンライン ツールが次の情報を含む前掲の画面に移動します。

- エラーコードと結果の確認
- 部品交換の提案
- お客様が Dell Warranty による保証期間内かどうか
- サービス タグに未解決のケースが存在する場合は、ケース参照番号

無効なエラーコードの例

Error Code (without 2000-prefix) *	<input type="text" value="0141"/>
Validation Code *	<input type="text" value="123456"/>
Service Tag ⓘ *	<input type="text" value="XXXXXXXX"/>
Part Serial # (optional)	<input type="text" value="Part Serial # (optional)"/>

 You have entered an invalid ePSA request, please check your details and try again.

QR APP 確認ツール

このタスクについて

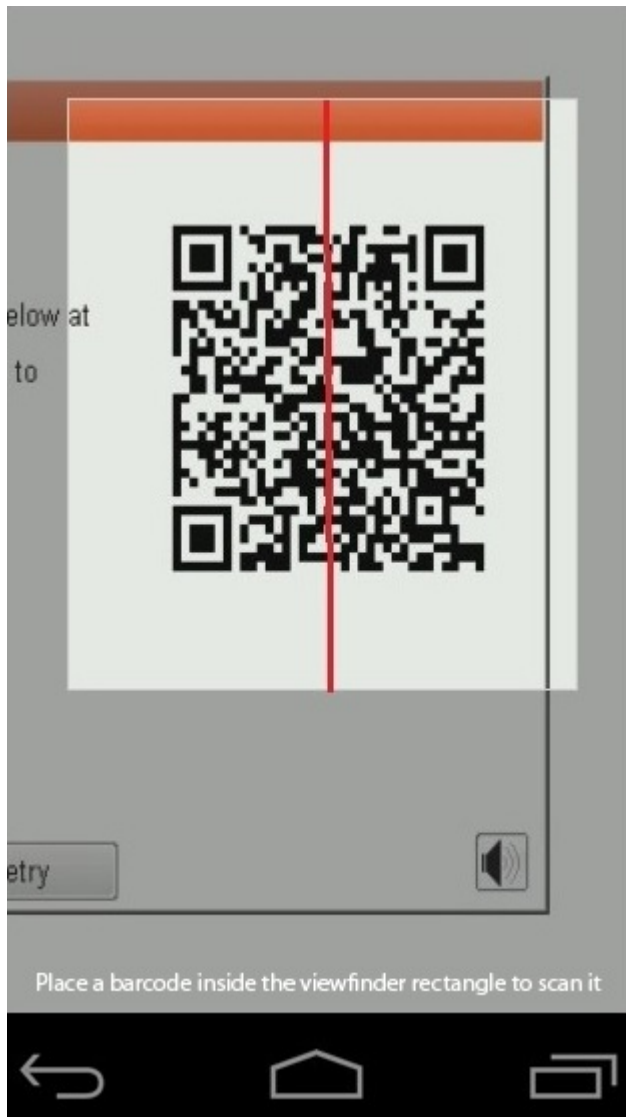
オンライン ツールを使用する以外に、お客様はスマートフォンの QR アプリで QR コードをスキャンすることでもエラーコードを検証できます。

手順

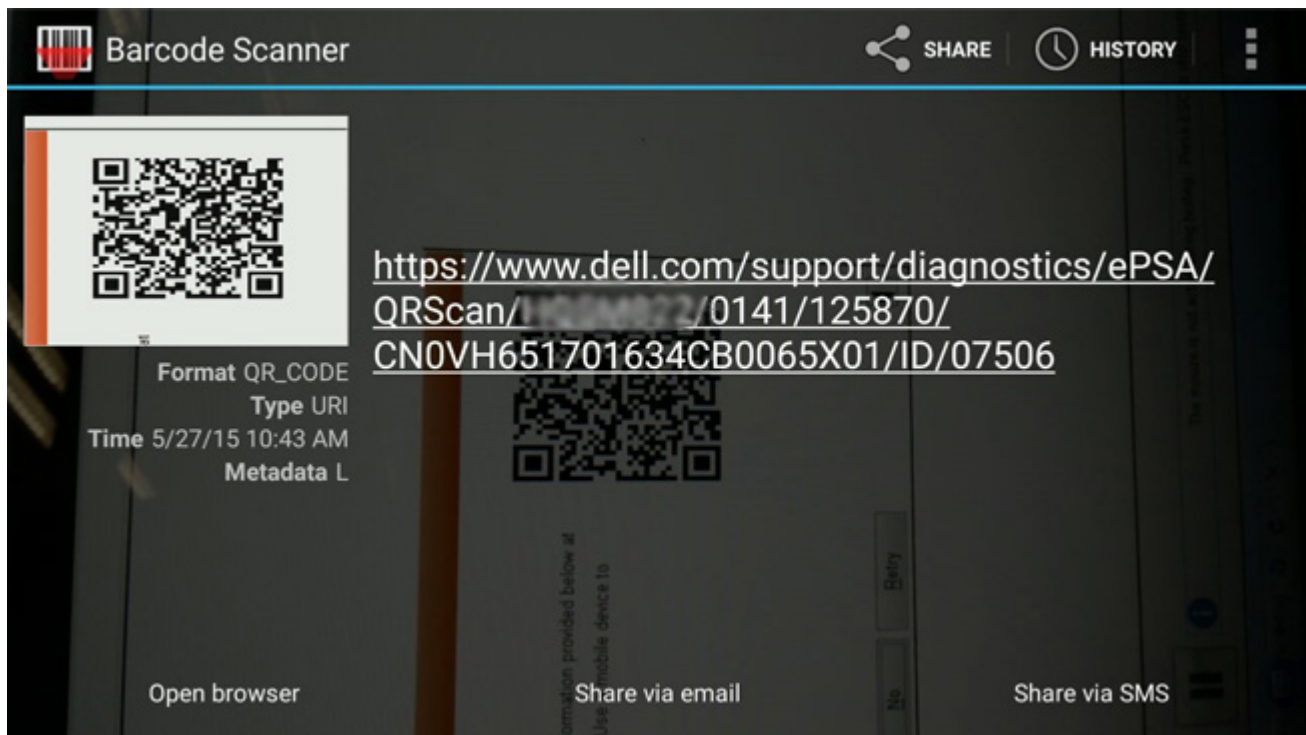
1. ユーザーは、SupportAssist オンボード診断エラー画面から QR コードを取得します。



2. ユーザーはスマートフォンの QR コード スキャナー アプリケーションを使用して、QR コードをスキャンすることができます。



3. QRコードスキャナーアプリケーションはコードをスキャンし、自動的にリンクを生成します。リンクをクリックして進みません。



タスクの結果

生成されたリンクにより、以下の情報を含む Dell サポート用 Web サイトに移動します。

- エラーコードと結果の確認
- 部品交換の提案
- お客様が Dell Warranty による保証期間内かどうか
- サービス タグに未解決のケースが存在する場合は、ケース参照番号

Vostro 20 All-in-One 3055
Service Tag: XXXXXXXXXX | Express Service Code: XXXXXXXXXX
Add to My Products List
View a different product

Manuals Warranty System configuration

Diagnostics

Support topics & articles

Drivers & downloads

General maintenance

Parts & accessories

Warning: Your system is currently Out of Warranty. Please contact Dell Technical Support for further assistance.

Result: Issues Found.

Your result requires attention. Review the affected hardware below and follow the instructions to troubleshoot problems or you may be presented with a request to replace parts.

[Clear results](#)

Needs Attention: System maintenance

Needs Attention

A potential error has been found. [Click here](#) to view a list of steps that can help resolve your issue.

[See full scan results.](#)

Diagnostics Completed

Hardware			
Diagnostic Name	Error Code	Serial #	Result
EP5A	141		❌ Failed

LCD ビルトイン自己テスト (BIST)

Dell ノートパソコンには組み込み型の診断ツールがあり、これにより、画面の異常が Dell ノートパソコンの LCD (画面) に固有の問題、またはビデオカード (GPU) と PC の設定に固有の問題かどうかを判断できます。

点滅、歪み、鮮明度の問題、画像のぼやけ、縦や横の線、色あせなど、画面の異常に気付いた場合は、ビルトイン自己テスト (BIST) を実行して LCD (画面) を切り離すことをお勧めします。

LCD BIST テストを呼び出す方法

1. Dell ノートパソコンの電源をオフにします。
2. ノートパソコンに接続されている周辺機器類をすべて外します。AC アダプター (充電器) だけをノートパソコンに接続します。
3. LCD (画面) をきれいな状態にします (表面から塵などを取り除きます)。
4. [D] キーを長押しし、ノートパソコンの電源を入れ ([電源オン])、LCD ビルトイン自己テスト (BIST) モードを起動します。LCD (画面) に色のバーが表示されるまで、D キーを押し続けます。
5. 画面に複数の色のバーが表示され、画面全体の色が赤、緑、青に変わります。
6. 画面に異常がないか、慎重に確認します。
7. **Esc** キーを押して終了します。

メモ: 起動時に、Dell SupportAssist の起動前診断によって最初に LCD BIST が開始され、ユーザー介入による LCD の機能の確認が求められます。

M-BIST

M-BIST (ビルトイン自己テスト) 診断ツールは、システムボードの障害での精度を改善しています。

メモ: M-BIST は POST (電源オン自己テスト) の前に手動で実行できます。

M-BIST を実行する方法

メモ: M-BIST は、AC 電源に接続されているか、バッテリーのみかのいずれかで、電源がオフの状態からシステムで起動する必要があります。

1. キーボードの **M** キーと **電源ボタン** の両方を長押しして、M-BIST を起動します。
2. **M** キーと **電源ボタン** の両方を押し下げたときに、バッテリーインジケータ LED に示されるのは次の 2 種類の状態です。
 - a. 消灯: システムボードに障害が検出されませんでした。
 - b. オレンジ色: システムボードに問題があることを示します。

システム診断ライト

バッテリーステータスライト

電源およびバッテリー充電ステータスを示します。

ソリッドホワイト: 電源アダプターが接続され、バッテリーの充電量は 5% 以上です。

橙色 — コンピュータがバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量は 5% 未満です。

消灯

- 電源アダプターが接続されバッテリーがフル充電されています。
- PC がバッテリーで動作しており、バッテリーの充電量が 5% 以上です。
- PC がスリープ状態、休止状態、または電源オフです。

電源およびバッテリーステータスライトが障害を示すビープコードと合わせて橙色に点滅します。

例えば、電源およびバッテリーステータスライトが、橙色に 2 回点滅して停止し、次に白色に 3 回点滅して停止します。この 2,3 のパターンは、PC の電源が切れるまで続き、メモリーまたは RAM が検出されないことを示しています。

次の表には、さまざまな電源およびバッテリーステータスライトのパターンと関連する問題が記載されています。

表 20. LED コード

診断ライトコード	問題の内容
1,1	TPM 検出エラー
1,2	回復不可能な SPI フラッシュ障害です
1,5	i-Fuse エラー
1,6	EC 内部エラー
2,1	プロセッサの不具合
2,2	システムボード: BIOS または ROM (読み取り専用メモリー) の障害です
2,3	メモリーまたは RAM (ランダムアクセスメモリー) が検出されません
2,4	メモリーまたは RAM (ランダムアクセスメモリー) の障害です
2,5	無効なメモリーが取り付けられています
2,6	システムボードまたはチップセットのエラーです
2,7	ディスプレイの障害です

表 20. LED コード (続き)

診断ライトコード	問題の内容
2,8	LCD 母線の障害です。
3,1	コイン型電池の障害です
3,2	PCI、ビデオ カード/チップの障害です
3,3	リカバリイメージが見つかりません
3,4	検出されたリカバリイメージは無効です
3,5	母線の障害です
3,6	システム BIOS のフラッシュが不完全です
3,7	マネジメント・エンジン (ME) エラー

カメラステータスライト：カメラが使用されているかどうかを示します。

- ソリッド ホワイト：カメラが使用中です。
- 消灯 — カメラは使用されていません。

キャップスロックステータスライト：キャップスロックが有効か、それとも無効かを示します。

- ソリッド ホワイト：キャップスロックが有効です。
- 消灯 — キャップスロックが無効です。

オペレーティング システムのリカバリー

PC で何度か試行してもオペレーティング システムが起動されない場合、Dell SupportAssist の OS のリカバリーが自動的に起動します。

Dell SupportAssist の OS のリカバリーは、Windows 10 オペレーティング システムがインストールされているすべての Dell PC にはプレインストールされるスタンダードアロン ツールです。PC でオペレーティング システムが起動される前に発生する問題を診断してトラブルシューティングするツールで構成されています。ハードウェアの問題の診断、PC の修復、ファイルのバックアップ、PC の出荷時状態への復元を行うことができます。

ソフトウェアやハードウェアの障害が原因でプライマリ オペレーティング システムを起動できない場合、Dell サポート用 Web サイトからダウンロードし、PC をトラブルシューティングして修正できます。


Dell SupportAssist の OS のリカバリーの詳細については、www.dell.com/support にある「Dell SupportAssist OS Recovery ユーザーズ ガイド」を参照してください。

待機電力のリリース

このタスクについて

待機電力とは、PC の電源をオフにし、バッテリーをシステム ボードから取り外したあとも PC に残っている静電気のことです。以下は、待機電力を放出する手順です。


手順

1. PC の電源を切ります。
2. **ベース カバー**を取り外します。
 **メモ:** バッテリーをシステム ボードから外す必要があります。**バッテリーの取り外し**の手順 2 を参照してください。
3. 待機電力を逃がすため、電源ボタンを 15 秒間押し続けます。
4. **ベースカバー**を取り付けます。
5. PC の電源を入れます。

WiFi 電源の入れ直し

このタスクについて

お使いの PC が WiFi 接続の問題によりインターネットに接続できない場合、WiFi の電源を入れ直すことで問題を解決できる場合があります。次の手順では、WiFi の電源の入れ直し方法について説明します。

 **メモ:** 一部の ISP (インターネット サービス プロバイダー) は、モデム/ルーター コンボ デバイスを提供しています。

手順



1. PC の電源を切ります。
2. モデムの電源を切ります。
3. ワイヤレス ルーターの電源を切ります。
4. 30 秒待ちます。
5. ワイヤレス ルーターの電源を入れます。
6. モデムの電源を入れます。
7. PC の電源を入れます。

「困ったときは」と「Dell へのお問い合わせ」

セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソースを使って Dell 製品とサービスに関するヘルプ情報を取得できます。

表 21. セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソース	リソースの場所
Dell 製品とサービスに関する情報	www.dell.com
My Dell	
ヒント	
お問い合わせ	Windows サーチに Contact Support と入力し、Enter を押します。
オペレーティング システムのオンライン ヘルプ	www.dell.com/support/windows www.dell.com/support/linux
トップ ソリューション、診断、ドライバー、およびダウンロードにアクセスし、ビデオ、マニュアル、およびドキュメントを参照してお使いの PC に関する情報を取得してください。	Dell PC は、サービス タグまたはエクスプレス サービス コードによって一意に識別されます。Dell PC に関連するサポート リソースを表示するには、 www.dell.com/support でサービス タグまたはエクスプレス サービス コードを入力します。 お使いの PC のサービス タグを確認する方法の詳細については、「 PC のサービス タグの位置確認 」を参照してください。
PC のさまざまな問題に関する Dell のナレッジ ベース記事	<ol style="list-style-type: none"> www.dell.com/support にアクセスします。 サポート ページの上部にあるメニュー バーで、[サポート] > [ナレッジ ベース] を選択します。 [ナレッジ ベース] ページの検索フィールドにキーワード、トピック、モデル番号のいずれかを入力し、検索アイコンをクリックまたはタップして関連する記事を表示します。

Dell へのお問い合わせ

販売、テクニカル サポート、カスタマー サービスに関する Dell へのお問い合わせは、www.dell.com/contactdell を参照してください。

- ① **メモ:** 各種サービスのご提供は国/地域や製品によって異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。
- ① **メモ:** お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、または Dell の製品カタログで連絡先をご確認ください。